

4. 実証内容詳細

- 開発内容
- 現場実証
- 効果検証指標・手法

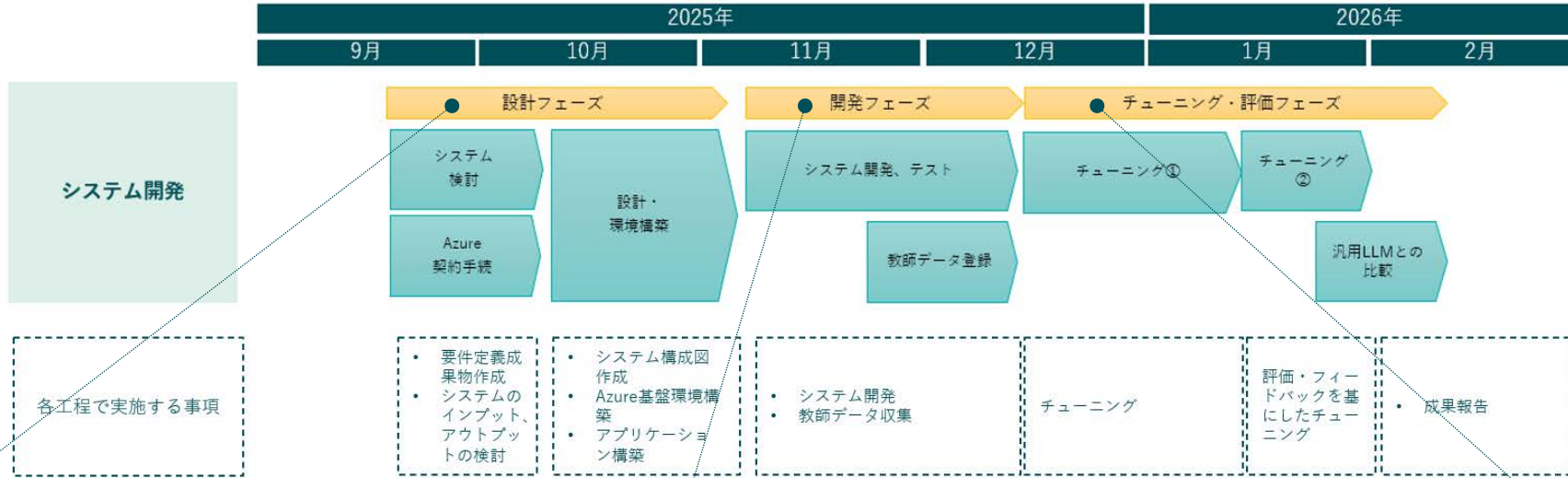
4. 実証内容詳細

- 開発内容
- 現場実証
- 効果検証指標・手法

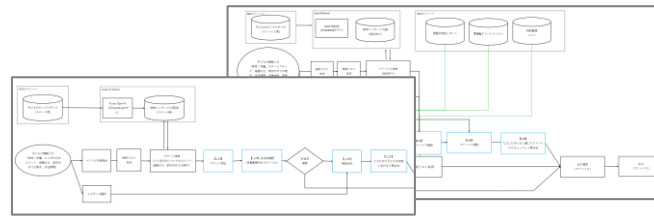
4. 開発内容 | 開発サマリー

開発スケジュール

・各協力者と連携し、設計～開発を推進



・見取りの上で必要なデータをディスカッションにより方針検討。各論点・現場課題について専門家の知見を共有いただき、設計へ反映。
 ・専門家の助言を基に、見取りと指導のアドバイスシートを設計。また、担任が一人で抱え込まないようにするため、アドバイスの対象者を担任だけでなく、管理職、日本語指導担当、教科担当等にも広げる工夫を行った。



・データ変換RAG、ハイブリッド検索、多階層処理などを組み入れることで、分野特化の生成AI環境を開発。



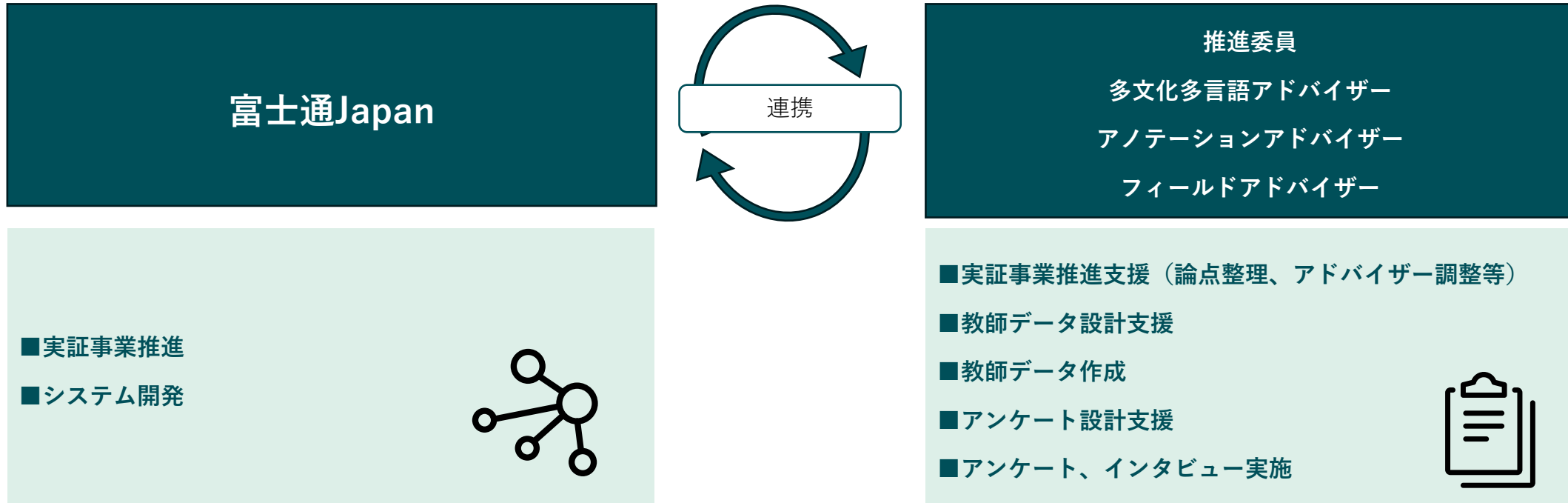
・アンケート、インタビュー結果を取り入れ複数回のチューニング実施し、精度を調整。

4. 開発内容 | 開発体制

開発体制

・推進委員、各種アドバイザー(※)の方々から専門知、現場課題・状況を連携いただき事業推進

※推進委員や各アドバイザーの詳細については、ステークホルダー一覧(次ページ)参照



4. 開発内容 | 開発体制

ステークホルダー一覧 (1/2)

プロジェクト推進委員

委員長・副委員長

No.	氏名	所属	肩書
1	櫻井 千穂	大阪大学大学院人文学研究科	准教授
2	小島 祥美	東京外国語大学	多言語多文化共生センター長 / 准教授
3	佐野 愛子	立命館大学文学部	教授

多文化多言語アドバイザー

No.	氏名	所属	肩書	専門文化・言語
1	清水 政明	大阪大学大学院人文学研究科	外国学専攻長・教授	ベトナム語
2	筒井 佐代	大阪大学大学院人文学研究科	外国語学部長・教授	日本語
3	酒井 裕美	大阪大学大学院人文学研究科	教授	朝鮮語
4	菅原 由美	大阪大学大学院人文学研究科	教授	インドネシア語
5	村上 忠良	大阪大学大学院人文学研究科	教授	タイ語
6	横井 幸子	大阪大学大学院人文学研究科	教授	ロシア語
7	江口 清子	大阪大学大学院人文学研究科	准教授	ハンガリー語
8	大塚 行誠	大阪大学大学院人文学研究科	准教授	ビルマ語
9	矢元 貴美	大阪大学大学院人文学研究科	准教授	フィリピン語
10	近藤 美佳	大阪大学大学院人文学研究科	講師	ベトナム語
11	鳥越 慎太郎	大阪大学大学院人文学研究科	講師	ポルトガル語
12	菅原 裕輝	大阪大学大学院人文学研究科	講師	-

フィールドアドバイザー

No.	氏名	所属	肩書
1	北野 賢一	大阪府教育庁教育振興室高等学校課	首席指導主事
2	山本 佐和子	大阪府教育庁市町村教育室小中学校課	首席指導主事
3	横溝 亮	横浜市教育委員会事務局	指導主事
4	朝倉 大	西尾市教育委員会学校教育課	指導主事
5	田嶋 麻理子	川崎市教育委員会事務局	教育政策室 人権・多文化共生教育担当
6	根田 もゆる	川崎市教育委員会事務局	教育政策室 人権・多文化共生教育担当
7	平吹 洋子	豊田市教育委員会	豊田市外国人児童生徒等教育アドバイザー

4. 開発内容 | 開発体制

ステークホルダー一覧 (2/2)

アノテーションアドバイザー

No.	氏名	所属	肩書
1	和泉元 千春	奈良教育大学	教授
2	今澤 梯	甲府市立伊勢小学校	教諭
3	江口 修三	呉市立白岳小学校	国際教室担任
4	榎井 縁	藍野大学	学科長補佐/ 教授
5	大菅 佐妃子	豊田市教育委員会	ことばの教室 室長
6	川上 さくら	大阪府立大阪わかば高等学校	多文化日本語担当
7	川田 麻記	桜美林大学リベラルアーツ学群	准教授
8	菊池 寛子	西尾市教育委員会 学校教育課	日本語教育指導アドバイザー
9	北場 夏紀	兵庫県立芦屋国際中等教育学校	教諭
10	甲田 菜津美	大阪府立大阪わかば高等学校	教諭
11	重井 アマンダ ジメネス	フリーランス	家庭教師
12	高橋 美奈子	琉球大学	准教授
13	田川 ひかり	大阪府立大阪わかば高等学校	教諭
14	ダグラス 昌子	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	名誉教授
15	立山 愛	別府市立別府中央小学校	日本語指導員

No.	氏名	所属	肩書
16	田 慧昕	大阪府立大阪わかば高等学校	常勤講師
17	天願 千里佳	北谷町教育委員会	日本語指導学習支援業務員
18	中石 ゆうこ	県立広島大学 大学教育実践センター	准教授
19	中島 和子	トロント大学	名誉教授
20	野入 はる香	豊田市立保見中学校	教諭
21	花島 健司	港区立麻布小学校	主任教諭
22	東 恵子	さぼうと21	学習支援ボランティア
23	真嶋 潤子	大阪大学/ 国際交流基金関西国際センター	名誉教授/ 所長
24	松崎 かおり	大阪大学大学院人文学研究科	博士後期課程
25	松田 真希子	東京都立大学	教授
26	丸山 多賀子	兵庫県立芦屋国際中等教育学校	日本語講師
27	森山 玲子	大阪府立大阪わかば高等学校	教諭
28	山岸 道明	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	副校長
29	山下 直子	鹿児島市立名山小学校	日本語指導協力者
30	吉田 美穂	弘前大学大学院教育学研究科	教授
31	李 光曦	大阪経済法科大学	准教授
32	和田 さとみ	岐阜県立東濃高校	国際部部长

4. 開発内容 | 開発体制

有識者との具体的なやり取りとシステムへの反映

有識者との協働による設計と、現場ニーズを踏まえた今後の課題整理を実施

設計フェーズ



・見取りの上で必要なデータ、各論点・現場課題についてディスカッションにより方針検討

- ✓ 見取り・アドバイスに必要な項目を専門家とともに洗い出し、「見取りと指導のアドバイスシート」のフォーマットを設計。
- ✓ 多文化多言語の子ども達の対応をしている実際の学校現場や教育委員会様主催の研修に同席させていただき、現場課題(As-Is)と目指すべき姿(To-Be)を現場目線でアップデート

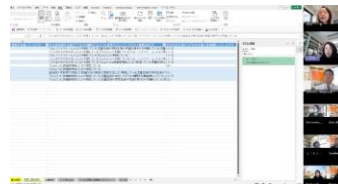


開発フェーズ



・実装状況、アンケートに向けて準備

- ✓ 不適切なアドバイス例や、特に配慮・慎重な判断が必要なケースに関する知見を整理し、要調整アドバイスリストと特記事項リストを作成
- ✓ As-Is To-Be像を踏まえ本実証の評価軸を
 - ①「ことばの力のものさし」
 - ②「見取りと指導のアドバイスシート」
 - ③「生成AI」
 の三軸と定め、それぞれの有効性・課題を測るアンケート案を専門家と共同で設計。



チューニング・評価フェーズ



・アンケート、チューニング結果を認識合わせ

- ✓ データのバリエーションを増やし、評価・チューニングを実施。汎用LLMとの比較実施
- ✓ 実証フィールドの教育委員会ご担当者様とアンケート結果、今回の実証成果についてインタビューを実施
- ✓ 「分量が多い」「入力負担が大きき」といった現場の声を踏まえ、今後の課題を整理（成果報告書 P.61~62参照）



4. 開発内容 | データ 収集・利用データ

#	利用データ	利用用途・目的（教育的効果）	データ取得元	加工方法
1	ことばの力のものさし	ステージ・ステップに応じた子どもの特徴(第3章)の活用のため	文部科学省	ステージ、ステップをそれぞれ特徴毎にCSV形式で利用
2	見取りと指導のアドバイスシート	テップ評価、および具体的なアドバイス」の事例を、教師データとして活用するため	アノテーションアドバイザー	項目ごとにCSV形式で利用
3	言語の特性レポート	子どもの母語が持つ言語的・文化的特性を考慮したアドバイスを生成するため	多文化多言語アドバイザー	言語ごとにファイル分割 区分ごとにJSON形式で利用
4	特記事項リスト	特に配慮すべき事項に関するアドバイスを生成するため	弊社 (本実証にて作成)	区分ごとにJSON形式で利用
5	要調整アドバイスリスト	アドバイスの中から、子どもの状況や背景に合わない不適切なものを検出し、調整するため	弊社 (本実証にて作成)	区分ごとにJSON形式で利用

4. 開発内容 | 管理

データ管理、個人情報管理、アクセス権、セキュリティへの対応

データ管理

- ・弊社開発プラットフォーム（Fujitsu Developers Platform）、非公開のクラウド領域およびにて適切に管理
- ・クラウドシステム構築時に日本リージョンにおける構築、オプトアウト申請、日本リージョン内のモデル選定などデータ流出への対応を実施
- ・データ利用にあたり各種関係者に対するデータ利用の許諾を取得

個人情報管理

- ・実証内において個人情報を扱わない、提供しないことを関係者間を確認
- ・データ受領時に意図しない個人情報の混入および、複合個人情報の混入がない事を確認
- ・社内監査にて、個人情報取り扱いにならないことをチェック（社内ガイドライン確認）

アクセス管理

- ・プロジェクト参画者のみへのアカウント払い出し、プロジェクト離脱者は随時削除。月次でメンバ棚卸を実施
- ・管理者、開発者、オブザーバーなど実証事業における権限グループを作成し、アクセス可能範囲を管理

セキュリティ対策

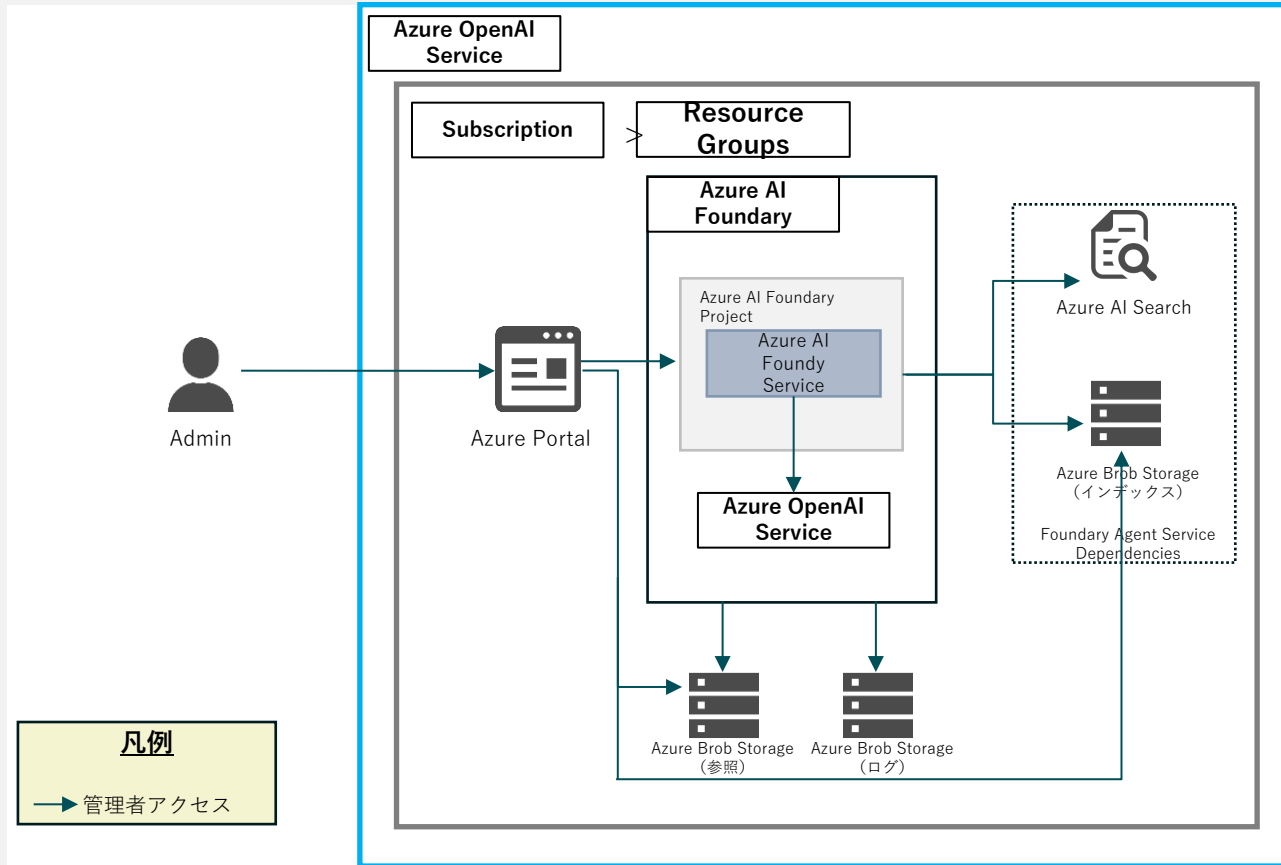
- ・作業実施者に対する弊社セキュリティルール準拠の徹底（作業端末特定、作業場所特定、各種パッチ適用など）
- ・パスワードポリシー、多要素認証必須などなりすまし対策の実施（社内ガイドライン確認）

AIセーフティ対応

- ・プロジェクト開始時、進行中の各種マイルストーンにおいて、社内監査を実施(プロジェクト品質含む)
- ・AIセーフティにおけるガイドラインの確認
- ・AIプロンプト、各種データに有害情報が混入していないことを確認

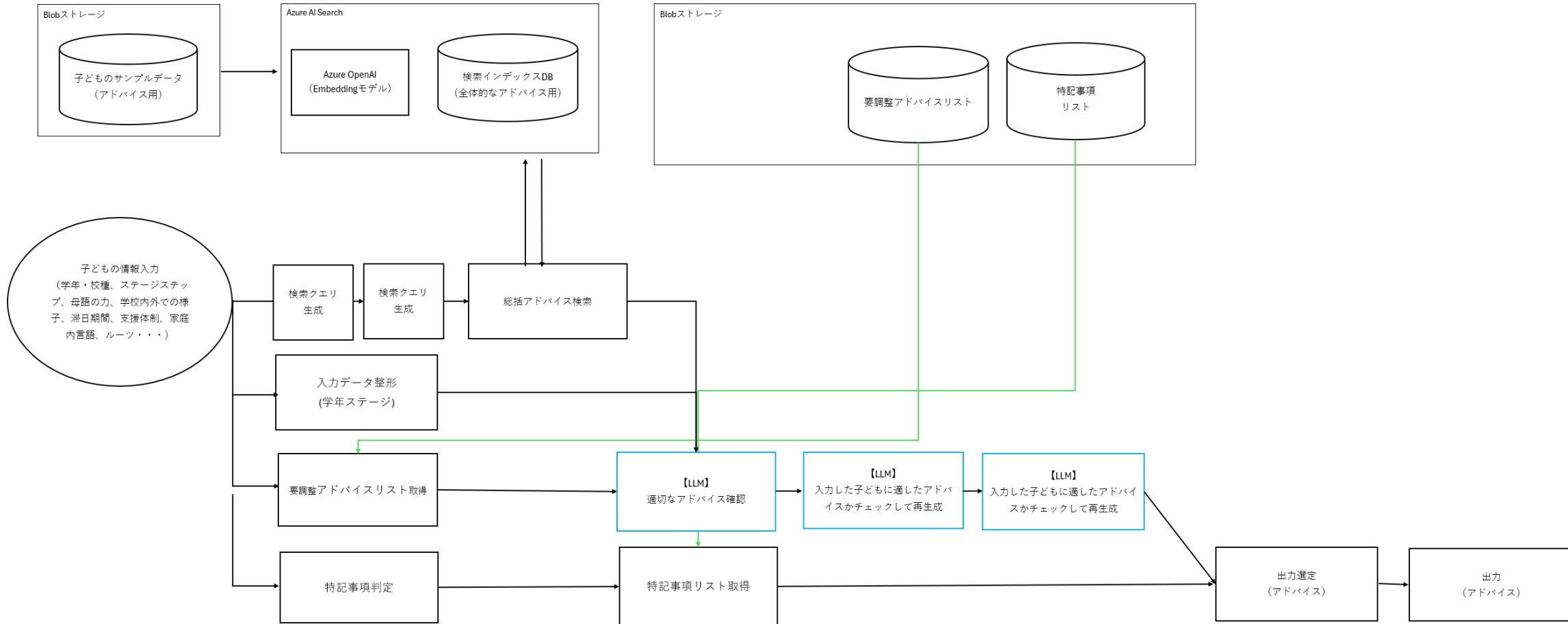
4. 開発内容 | システムアーキテクチャ

システムアーキテクチャ図



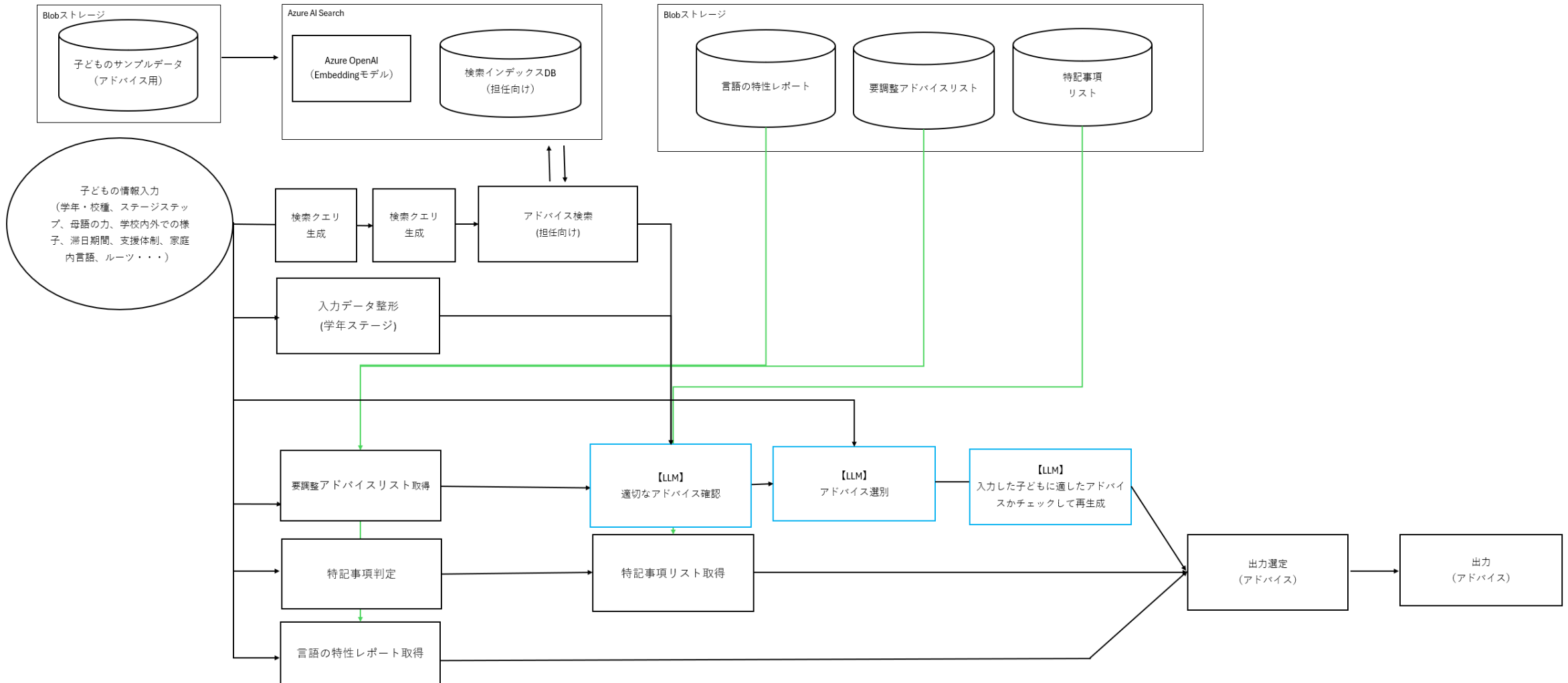
4. 開発内容 | ロジック図 (AIエージェント/データ処理)

ロジック図(全体的なアドバイス)



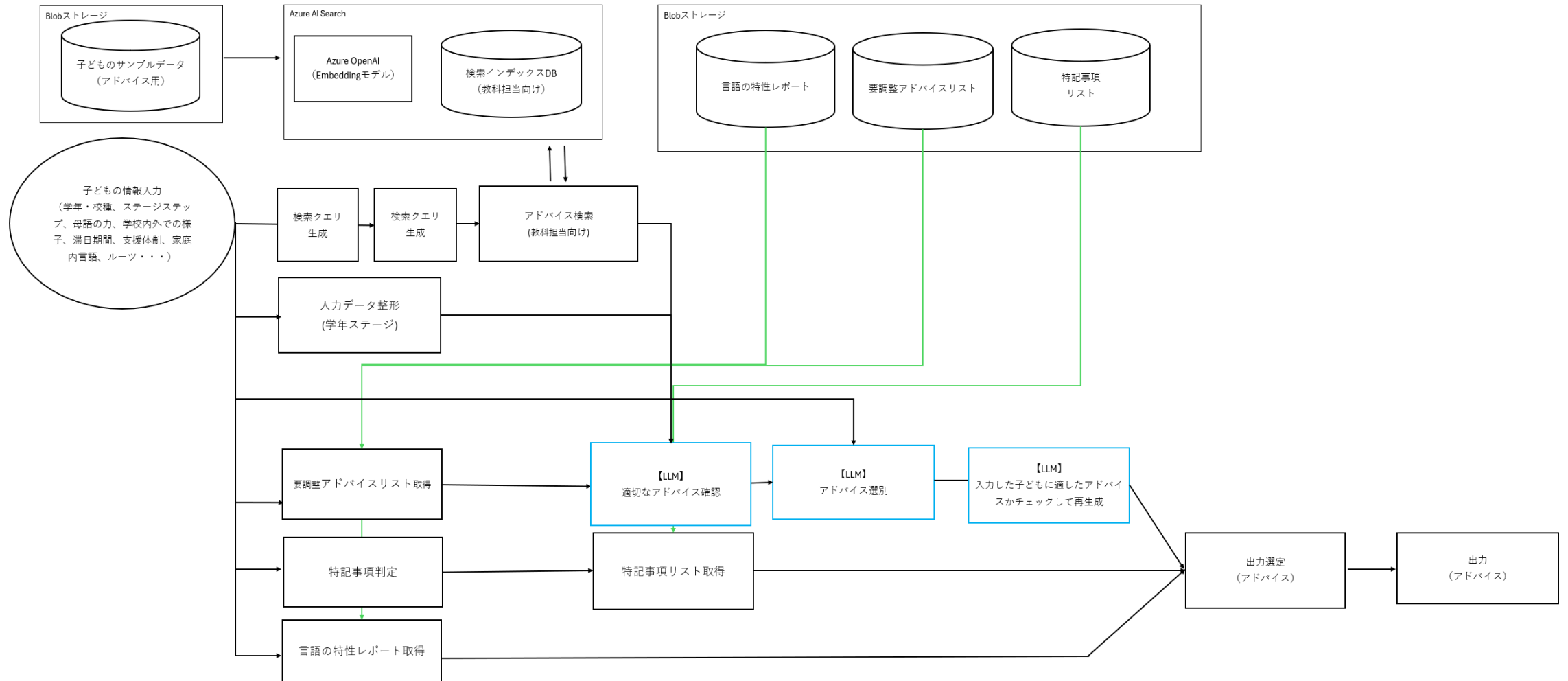
4. 開発内容 | ロジック図 (AIエージェント/データ処理)

ロジック図(担任向けアドバイス)



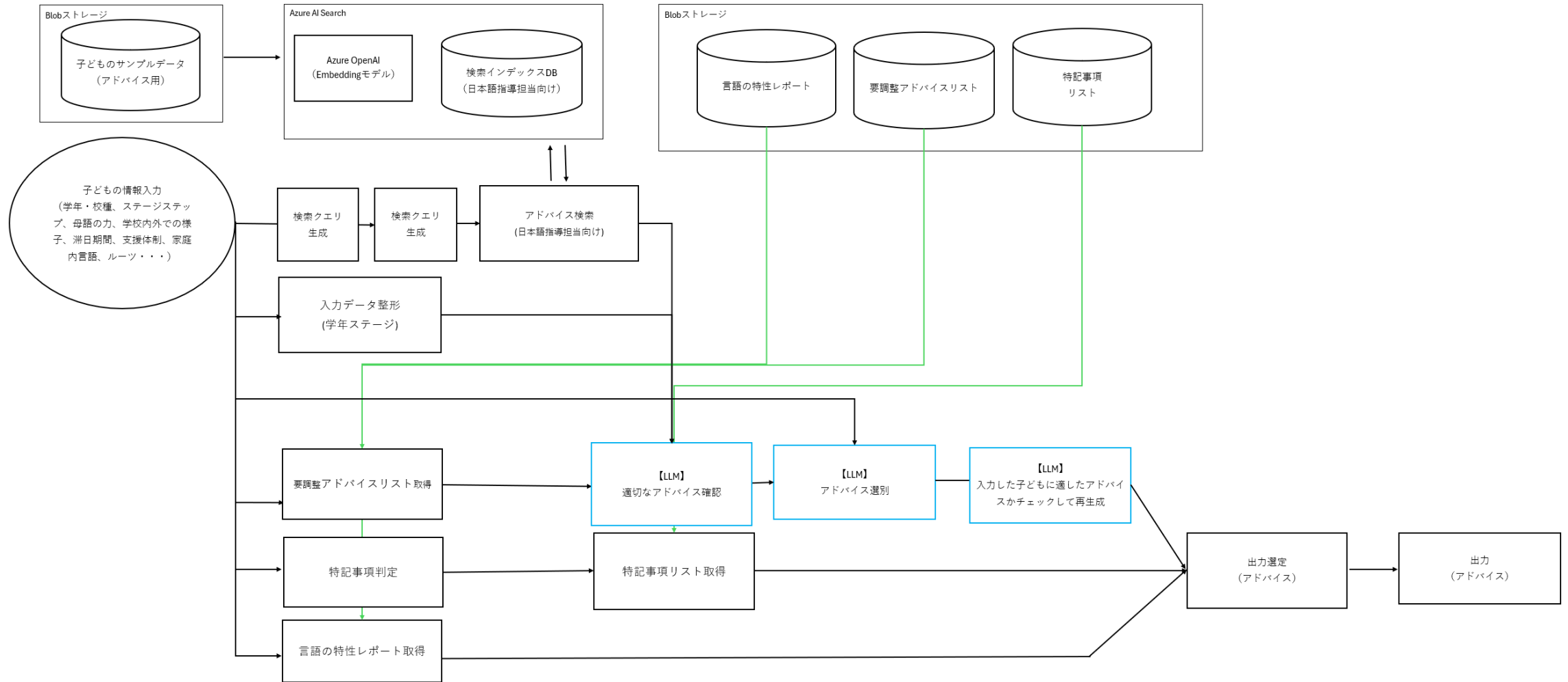
4. 開発内容 | ロジック図 (AIエージェント/データ処理)

ロジック図(教科担当向けアドバイス)



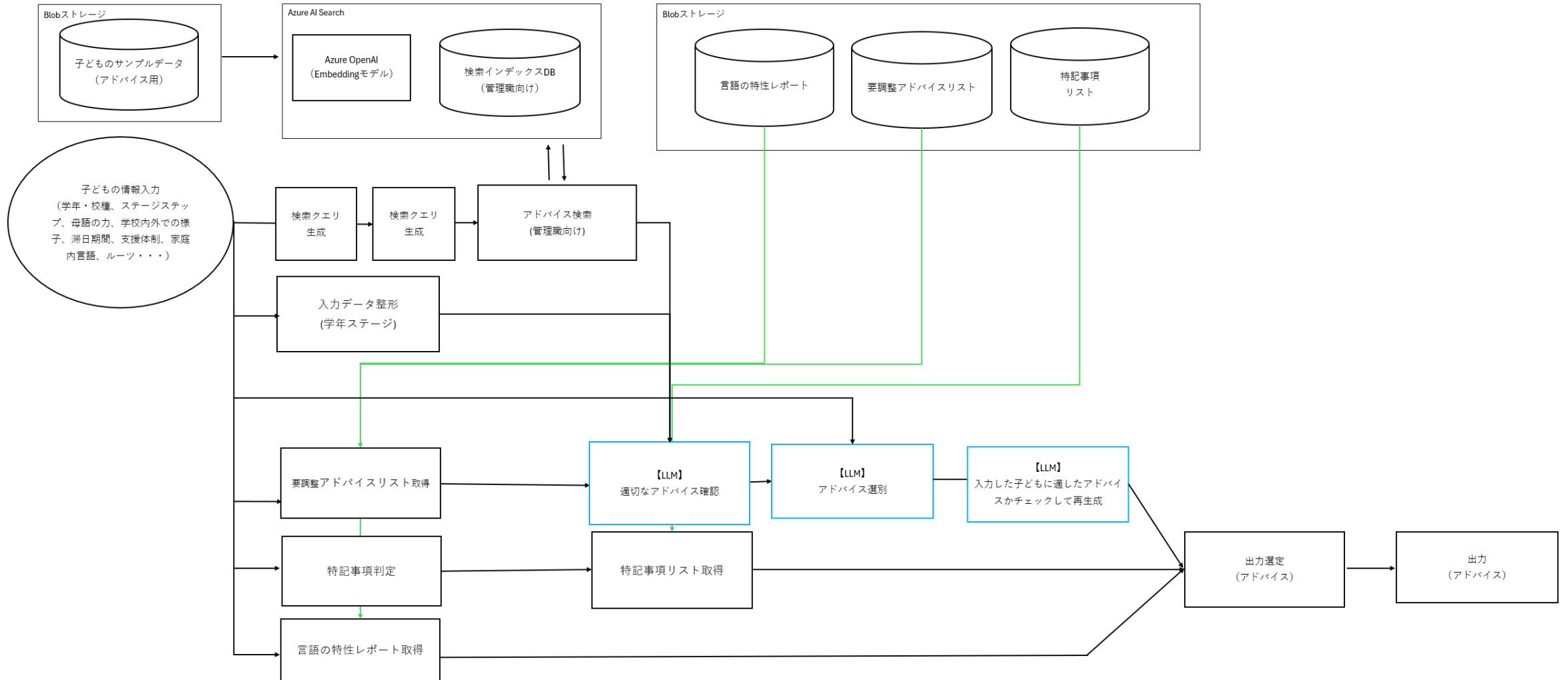
4. 開発内容 | ロジック図 (AIエージェント/データ処理)

ロジック図(日本語指導担当向けアドバイス)



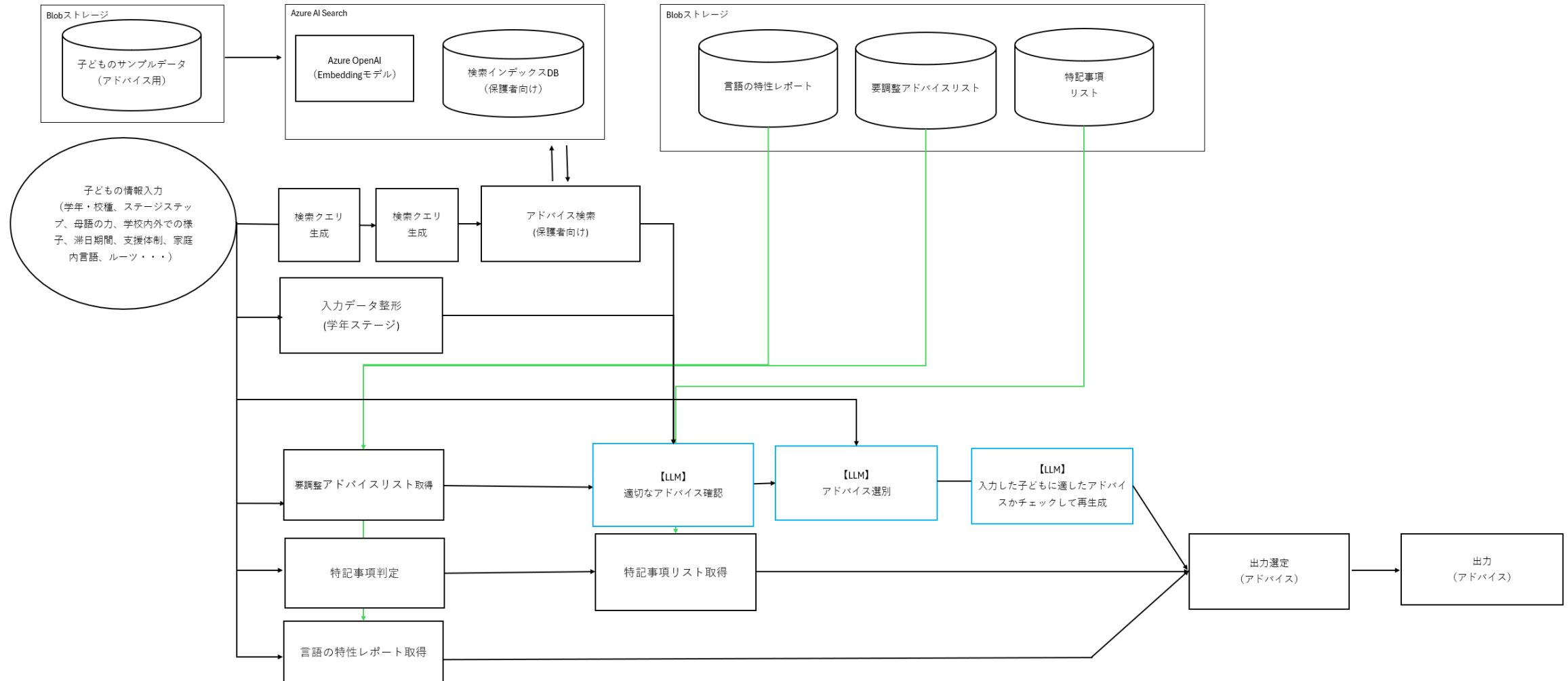
4. 開発内容 | ロジック図 (AIエージェント/データ処理)

ロジック図(管理職向けの見取りアドバイス)



4. 開発内容 | ロジック図 (AIエージェント/データ処理)

ロジック図(保護者向けの見取りアドバイス)



4. 開発内容 | 非機能要件一覧 (2/7)

大項目	中項目	小項目	小項目説明	メトリクス (指標)	重要度	計画値	実績値	備考										
性能・拡張性	業務処理量	通常時の業務量	性能・拡張性に影響を与える業務量。 該当システムの稼働時を想定し、合意する。それぞれのメトリクスに於いて、単一の値だけでなく、前提となる時間帯や季節の特性なども考慮する。	ユーザ数	高		1	1	SE主担当1名 (同時利用想定なし)									
				同時アクセス数	高		1	1	SE主担当1名 (同時利用想定なし)									
				データ量	高		10KB	10KB	Json1件 (対象1人分)									
				リクエスト件数	高		1	1	SE主担当1名によるリクエスト									
				バッチ処理件数	低	-	-	-	定期実行バッチなし									
				業務機能数	高		2	2	以下の2機能に対して、9つのプロンプトラローを構築。									
	業務量増大度	システム稼働開始からライフサイクル終了までの間で、開始時点と業務量が最大になる時点の業務量の倍率。 必要に応じ、開始日の平均値や、開始後の定常状態との比較を行う場合もあ	各種増大率等			低	-	-	実証では、ユーザ数・リクエスト数は一定									
										性能目標値	オンラインレスポンス	オンラインシステム利用時に要求されるレスポンス。 システム化する対象業務の特性をふまえ、どの程度のレスポンスが必要かについて確認する。ピーク特性や、障害時の運用を考慮し、通常時・ピーク時・縮退運転時毎に順守率を決める。具体的な数値は特定の機能またはシステム分類毎に決めておくことが望ましい。(例: Webシステムの参照系/更新系/一覧系など)	通常時レスポンス順守率	中	-	-	SE1名による単一リクエスト 性能チューニング予定なし	
													ピーク時レスポンス順守率	低	-	-	ピーク無し	
											バッチレスポンス	バッチシステム利用時に要求されるレスポンス。 システム化する対象業務の特性をふまえ、どの程度のレスポンス (ターンアラウンドタイム) が必要かについて確認する。更に、ピーク特性や、障害時の運	レスポンス順守率	低	-	-	-	定期実行バッチなし
											バッチスループット	バッチシステム利用時に要求されるスループット。 システム化する対象業務の特性をふまえ、どの程度のスループットを確保すべきを確認する。更に、ピーク特性や、障害時の運用を考慮し、通常時・ピーク時・縮退運転時毎に処理余裕率を決める。具体的な数値は特定の機能またはシステム分類毎に決めておくことが望ましい。	処理余裕率	低	-	-	-	定期実行バッチなし
帳票印刷能力	帳票印刷に要求されるスループット。 業務に必要な帳票の出力時期や枚数を考慮し、どの程度のスループットが必要かを確認する。	印刷余裕率	低	-	-	帳票印刷機能なし												

4. 開発内容 | 非機能要件一覧 (3/7)

大項目	中項目	小項目	小項目説明	マトリクス (指標)	重要度	計画値	実績値	備考	
運用保守性	通常運用	バックアップ	システムが利用するデータのバックアップに関する項目。	データ復旧範囲	低	-	-	実証ではバックアップ運用無し	
				外部データの利用可否	低	-	-	実証ではバックアップ運用無し	
				バックアップ利用範囲	低	-	-	実証ではバックアップ運用無し	
				バックアップ自動化の範囲	低	-	-	実証ではバックアップ運用無し	
				バックアップ取得間隔	低	-	-	実証ではバックアップ運用無し	
				バックアップ保存期間	低	-	-	実証ではバックアップ運用無し	
				バックアップ方式	低	-	-	実証ではバックアップ運用無し	
		運用監視	システム全体、あるいはそれを構成するハードウェア・ソフトウェア（業務アプリケーションを含む）に対する監視に関する項目。セキュリティ監視については本項目には含めない。「E.7.1 不正監視」で別途検討すること。	監視情報	低	-	-	実証では監視運用無し	
				監視間隔	低	-	-	実証では監視運用無し	
				システムレベルの監視	低	-	-	実証では監視運用無し	
				プロセスレベルの監視	低	-	-	実証では監視運用無し	
				データベースレベルの監視	低	-	-	実証では監視運用無し	
				ストレージレベルの監視	低	-	-	実証では監視運用無し	
	運用環境	開発用環境の設置	ユーザがシステムに対する開発作業を実施する目的で導入する環境についての項目。	開発用環境の設置有無	低	無し	無し	実証用の環境のみ	
				試験用環境の設置	低	無し	無し	実証用の環境のみ	
		マニュアル準備レベル	運用のためのマニュアルの準備のレベル。	マニュアル準備レベル	低	-	-	実証ではSE作業のみため、マニュアル作成予定無し	
		リモートオペレーション	システムの設定環境とは離れた環境からのネットワークを介した監視や操作の可否を定義する項目。	リモート監視地点	高	リモート実行有	リモート実行有	ID・パスワード認証により、AI Foundryに接続	
		外部システム接続	システムの運用に影響する外部システムとの接続の有無に関する項目。	外部システムとの接続有無	低	無し	無し	無し	外部システムとの接続無し
				監視システムの有無	低	無し	無し	無し	外部システムとの接続無し
				ジョブ管理システムの有無	低	無し	無し	無し	外部システムとの接続無し

4. 開発内容 | 非機能要件一覧 (4/7)

大項目	中項目	小項目	小項目説明	マトリクス (指標)	重要度	計画値	実績値	備考
セキュリティ	前提条件・制約条件	情報セキュリティに関するコンプライアンス	順守すべき情報セキュリティに関する組織規程やルール、法令、ガイドライン等が存在するかどうかを確認するための項目。なお、順守すべき規程等が存在する場合は、規定されている内容と矛盾が生じないよう対策を検討する。(例)	順守すべき社内規程、ルール、法令、ガイドライン等の有無	高	有り	有り	情報セキュリティ計画書
		セキュリティリスク分析	システム開発を実施する中で、どの範囲で対象システムの脅威を洗い出し、影響の分析を実施するかの方針を確認するための項目。なお、適切な範囲を設定するためには、資産の洗い出しやデータのライフサイクルの確認等を行う必要がある。また、洗い出した脅威に対して、対策する範囲を検討する。	リスク分析範囲	低	無し	無し	実証ではSEのみにアクセスおよび操作を限定するため
	セキュリティ診断	セキュリティ診断	対象システムや、各種ドキュメント (設計書や環境定義書、実装済みソフトウェアのソースコードなど) に対して、セキュリティに特化した各種試験や検	ネットワーク診断実施の有無	中	無し	無し	インターネット公開をしないため
				Web診断実施の有無	低	無し	無し	外部公開なし
				DB診断実施の有無	低	無し	無し	DBなし
	セキュリティリスク管理	セキュリティリスクの見直し	対象システムにおいて、運用開始後に新たに発見された脅威の洗い出しとその影響の分析をどの範囲で実施するかを確認するための項目。セキュリティリスクの見直しには、セキュリティホールや脆弱性、新たな脅威の調査等が含まれる。	セキュリティリスク見直し頻度	中	適宜	適宜	弊社アセット管理システムにて、セキュリティ対策状況を監視。
				セキュリティリスクの見直し範囲	中	適宜	適宜	弊社アセット管理システムにて、セキュリティ対策状況を監視。
		セキュリティリスク対策の見直し	対象システムにおいて、運用開始後に発見された脅威に対する対策の方針を確認するための項目。また、検討するにあたり、発見された脅威についての対応範囲について明らか	運用開始後のリスク対応範囲	中	適宜	適宜	弊社アセット管理システムにて、セキュリティ対策状況を監視。
				リスク対策方針	中	適宜	適宜	発生するリスクの重要度と影響度に応じた対策を実施する
	セキュリティパッチ適用	セキュリティパッチ適用	対象システムの脆弱性等に対応するためのセキュリティパッチ適用に関する適用範囲、方針および適用のタイミングを確認するための項目。これらのセキュリティパッチには、ウイルス定義ファイル等を含む。また、セキュリティパッチの適用範囲は、OS、ミドルウェア等々に確認する必要があり、これらセキュリティパッチの適用を検討する際には、システム全体	セキュリティパッチ適用範囲	高	無し	無し	Azure AI Foundry 上で プロンプトフローを構築しており、VMやWeb App 等を構築していないため対象外。
				セキュリティパッチ適用方針	中	無し	無し	Azure AI Foundry 上で プロンプトフローを構築しており、VMやWeb App 等を構築していないため対象外。
				セキュリティパッチ適用タイミング	高	無し	無し	Azure AI Foundry 上で プロンプトフローを構築しており、VMやWeb App 等を構築していないため対象外。

4. 開発内容 | 非機能要件一覧 (7/7)

大項目	中項目	小項目	小項目説明	メトリクス (指標)	重要度	計画値	実績値	備考
システム環境・エコロジ	システム制約/前提条件	構築時の制約条件	構築時の制約となる社内基準や法令、各地方自治体の条例などの制約が存在しているかの項目。 例) ・ J-SOX法 ・ ISO/IEC27000系 ・ 政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準 ・ FISC ・ プライバシーマーク ・ 構築実装場所の制限など	構築時の制約条件	高	仕様書に記載のガイドラインに従う	仕様書に記載のガイドラインに従う	・ 初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン ・ 教習情報セキュリティポリシーに関するガイドライン ・ 教習データの利活用に関する留意事項
		運用時の制約条件	運用時の制約となる社内基準や法令、各地方自治体の条例などの制約が存在しているかの項目。 例) ・ J-SOX法 ・ ISO/IEC27000系 ・ 政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準 ・ FISC ・ プライバシーマーク	運用時の制約条件	低	無し	無し	
システム特性	ユーザ数	システムを使用する利用者(エンドユーザ)の人数。	ユーザ数	高	4	4	システム構築に関連するSEの人数	
	クライアント数	システムで使用され、管理しなければいけないクライアントの数。	クライアント数	高	9	9	構築しているプロンプトフロー数	
	拠点数	システムが稼働する拠点の数。	拠点数	高	1	1	Azureは東日本リージョンに構築	
	地域的広がり	システムが稼働する地域的な広がり。	地域的広がり	高	利用場所は国内の弊社・協力会社拠点および在宅勤務環境からのアクセス	利用場所は国内の弊社・協力会社拠点および在宅勤務環境からのアクセス	利用場所は国内の弊社・協力会社拠点および許可されたネットワーク環境からのアクセス	
	特定製品指定	ユーザの指定によるオープンソース製品や第三者製品(ISV/IHV)などの採用の有無を確認する項目。採用によりサポート難易度への影響があるかの観点で確認を行う。	特定製品の採用有無	低	無し	無し		
	システム利用範囲	システム利用者が属する属性の広がり。	システム利用範囲	高	PJの担当SEのみ	PJの担当SEのみ		
	複数言語対応	システム構築の上で使用が必要、またはサービスとして提供しなければならない言語。扱わなければならない言語の数や各言語スキル保持者へのアクセシビリティを考慮。	言語数	高	日本語のみ	日本語のみ		

4. 開発内容 | 非機能要件詳細(AIセーフティへの対応)

AIセーフティに関する評価観点ガイドへの対応状況 (3/3)

#	項目	運用面の取組み	技術面の取組み	今後サービスインに向けて必要な取組み
9	データ品質	<p>実証事業において、教師データは必要な項目の洗い出し、記載内容の整理、テンプレート準備を行ったうえで作成を行い、教師データとしての統一性、一貫性を確保。 教師データは専門家により作成。</p>	<p>ステージ判定やアドバイス生成に有効なデータ項目（それぞれ19項目、46項目）を特定し、それぞれに重みづけを行い判定処理を実施。 入力フォームで、選択式項目（校種、学年、ルーツの国・言語など）を活用し、自由記述による表記揺れ・入力ミス減らす。 教師データの検索には、重要項目への重み付けとハイブリッド検索（キーワード+ベクトル）を用い、関連性の高いデータを優先的に参照することで、ノイズの影響を抑える。 教師データ・言語特性レポート・特記事項リストを作成し、専門知を適切に出力できるようにする。</p>	<p>教師データの定期的な見直し（内容の古さ・重複・矛盾のチェック）を行う運用を整備する。 入力データの品質指標（欠損率、矛盾率など）をモニタリングし、品質が低い場合には入力プロセスやUIの改善を検討する。 新たな実証フィールド・自治体から得られた知見を教師データに反映する際、レビュー・承認プロセスを設けて品質を担保する。</p>
10	検証可能性	<p>実証フィールドでのアンケート・インタビューを実施し、システムの有効性・妥当性を検証する。 「ことばの力のものさし」「見取りと指導のアドバイスシート」「生成AI活用」に関する評価項目を整理し、定量・定性の両面から効果検証を行う運用とする。</p>	<p>ステージ・ステップ・目標算出ロジックやアドバイス生成ロジックをロジック図として明示し、入力から出力までの処理フローを追跡できるようにしている。 AIの判定結果が入力情報に対して妥当な範囲かどうかをチェックする処理（整合性評価）を組み込み、検証時にどのケースでどのような調整が行われたかを確認できるようにする。 汎用LLMとの比較実験（同一ケースに対するアドバイスの比較）を行い、本システムの教育特化・専門性の有効性を検証している。</p>	<p>実運用データを用いた継続的な評価（例：教員の満足度、子どもの学びの質の変化、連携のしやすさなど）を行い、結果をもとにロジック・UI・教師データを改善するPDCAサイクルを構築する。 検証結果・改善履歴をドキュメントとして蓄積し、将来のバージョンアップ時に参照できるようにする。 外部の専門家・研究者との共同研究等を通じて、アセスメント精度やアドバイスの有効性について第三者評価を受けることを検討する。</p>

4. 開発内容 | 非機能要件詳細(AIセーフティへの対応)

AIセーフティに関する弊社の取組み

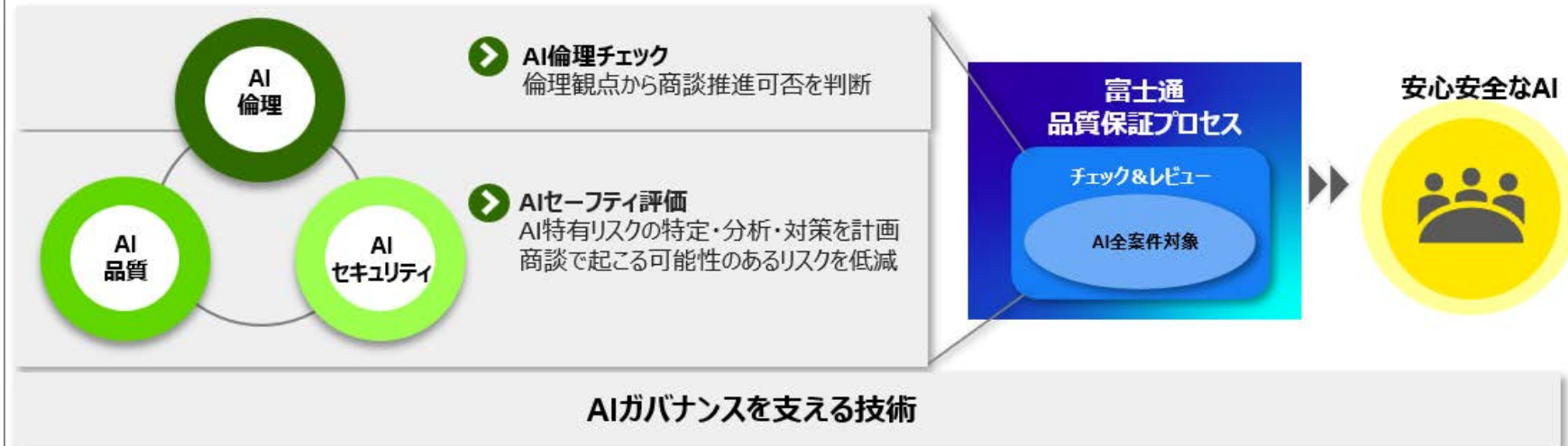
- AI活用するプロジェクトに対し、AI倫理チェック、AIセーフティ評価を実施することでより良いAI社会を目指す

安心安全なAIへ向けた実践的な取組み



国内外の法規制の拡大を見据え、富士通グループすべてのAIビジネスに対するリスク審査として、AI倫理観点からのAI倫理チェックに加えて、AI特有のリスクを低減するためのAIセーフティ評価を実施しています。

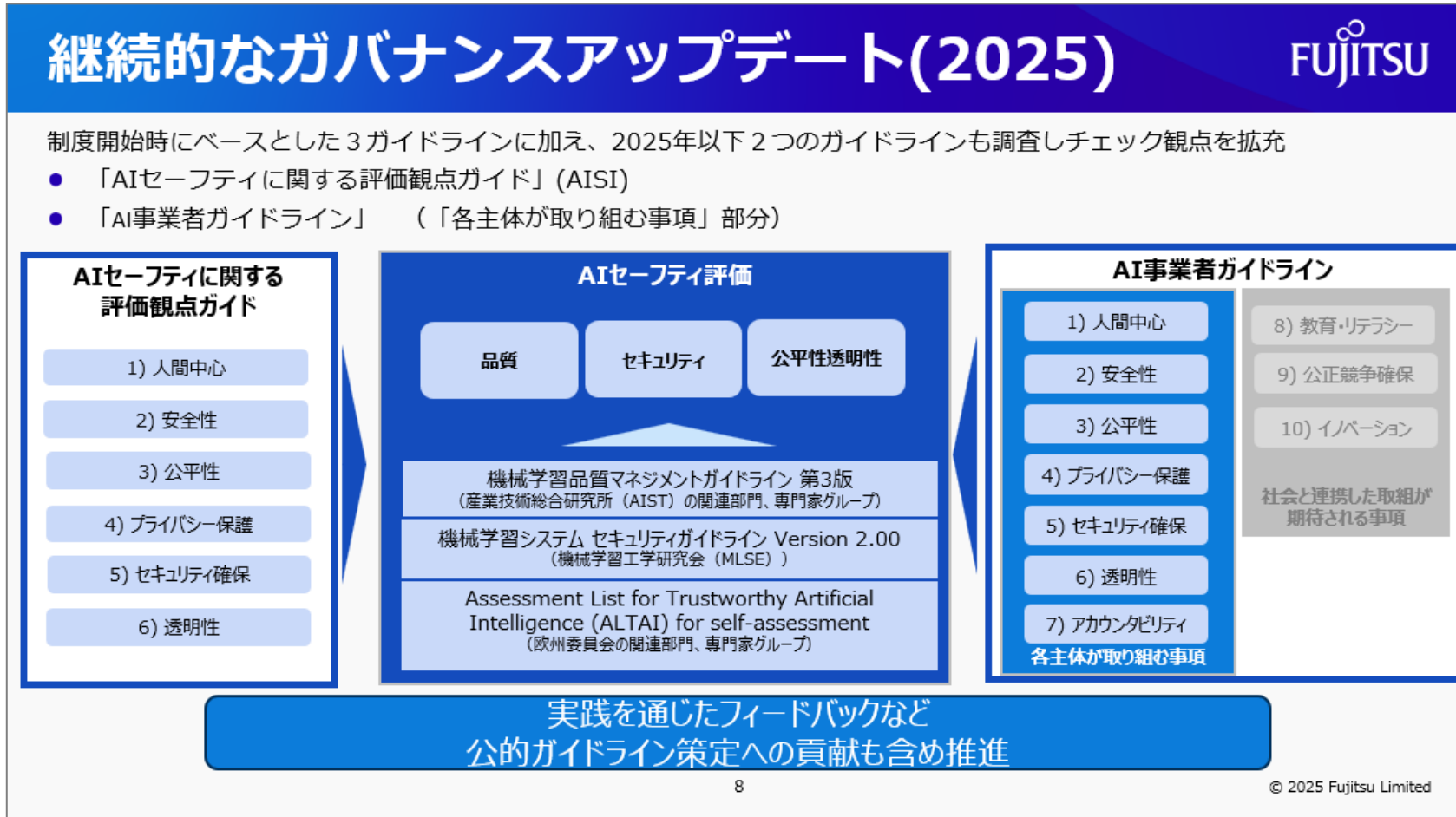
富士通の商談・システム提供時の品質保証プロセスへ組み込み、実施基準に基づきセルフチェック・統制部門のレビューを実施し、AIの企画から運用まで一貫したAIガバナンス体制を敷いています。



4. 開発内容 | 非機能要件詳細(AIセーフティへの対応)

AIセーフティに関する弊社の取組み

- ・ 社会動向に合わせ、チェック観点を継続的にアップデート



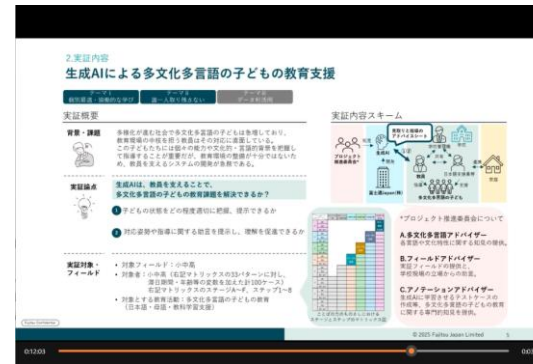
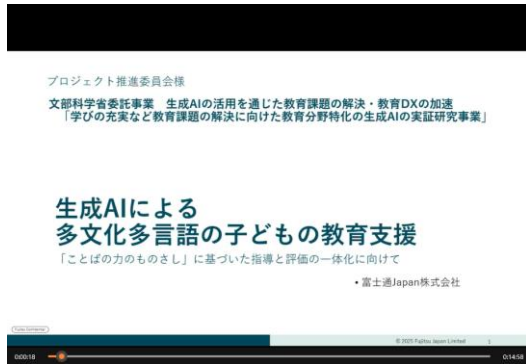
4. 実証内容詳細

- 開発内容
- **現場実証**
- 効果検証指標・手法

4. 現場実証 | 事前説明会・事前研修 推進委員、各種アドバイザーのプロジェクト参画手続きについて

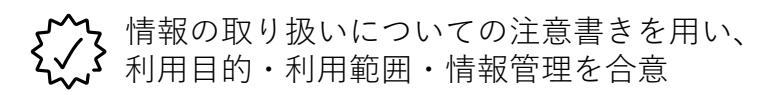
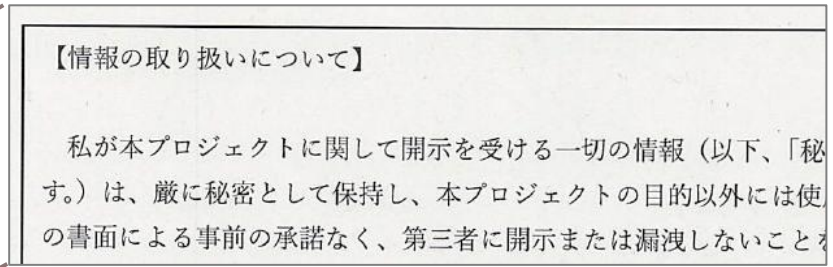
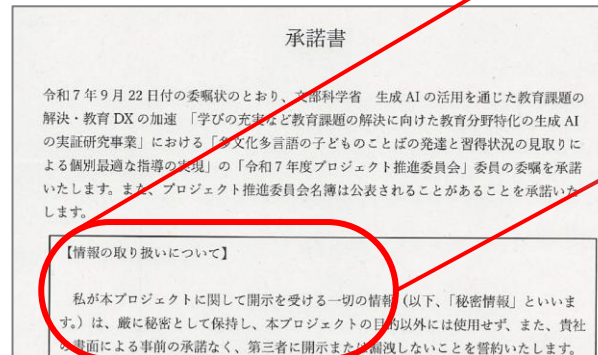
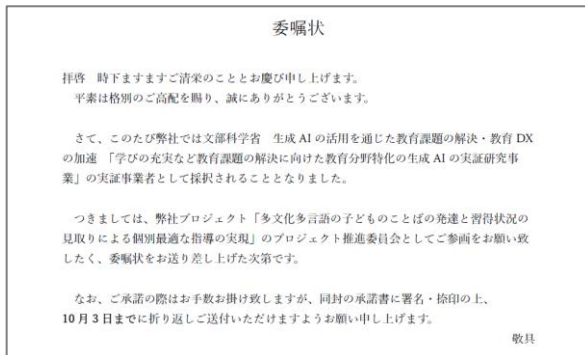
① 実証事業趣旨、ご依頼予定作業を動画にて事前説明

■ 実証事業内容ご説明動画（抜粋）



② 委嘱状・承諾書を用いて正式参画の手続きを実施

■ 委嘱状・承諾書（抜粋）

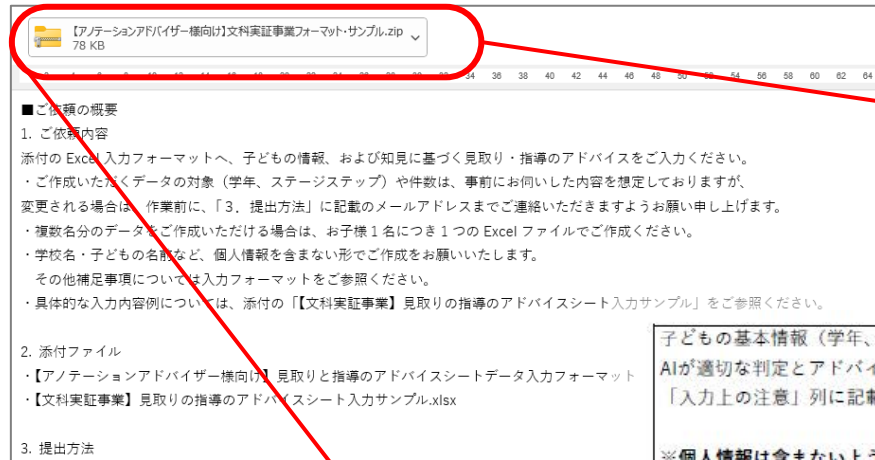


4. 現場実証 | データ授受

教師データ受領について

アドバイザーへ教師データ作成をご依頼

■メールにてフォーマットとサンプルを添付し教師作成をご依頼



入力フォーマット

子どもの基本情報（学年、言語背景など）や、ことばの力のアセスメントの様子を入力することで、個々の子どもの発達段階に応じた「ことばの力のステージ・ステップ」を判定し、教員向けに AI が適切な判定とアドバイスを学習するための「教師データ」として、先生方の専門的な知見に基づいた子どもの事例をご提供いただきたく、先生方がこれまでに関わってこられた子どもたちの事例を「入力上の注意」列に記載いただきたい内容について補足説明をしておりますが、その通りに書くことが難しい場合は自由に書きやすい形式でご回答ください。

※個人情報を含まないようにご記載ください。-----
※わからない場合は「不明」とご記載ください。

No	カテゴリ	項目	入力上の注意	入力欄
1		校種	小学校 / 中学校 / 高等学校 等	
2		学年		
3		年齢		
4		性別	性別や、戸籍上の性別と異なっていても問題ございません。	
5		来日時		
6		来日時		
7		滞日期		
8		日本語		
9		つながり	ご記載ください。	
10	子どもの基本情報	家庭内での使用言語（子ども一人保護者 1）	<ul style="list-style-type: none"> ・複数言語ある場合は、「日本語（8割）、中国語（2割）」のようにどの言語の割合が多いのかわかるようにご記載ください。 ・家庭内で最も会話する保護者を想定してご記載ください。 	

✓ 個人情報の入力について
データ入力時の注意時事項へ明記

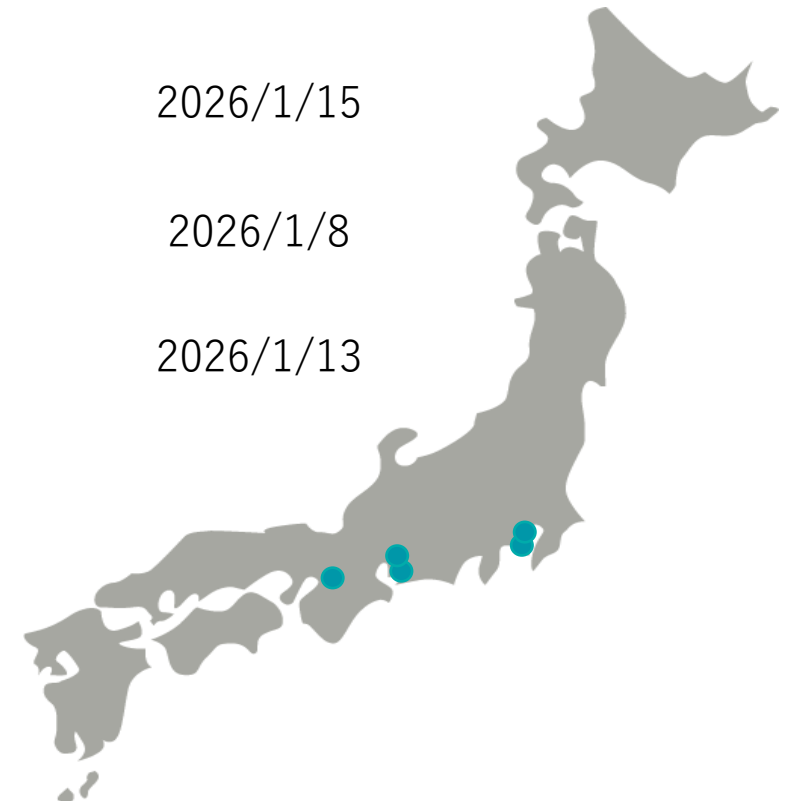
4. 実証内容詳細

- 開発内容詳細
- 現場実証詳細
- 効果検証指標・手法

4. 効果検証指標・手法 | サマリー

実証フィールドでのアンケート、インタビューから情報収集

実証フィールド(※)	Webアンケート	インタビュー
大阪府	2025/12/8~12/28	2026/1/7
愛知県豊田市		2026/1/7
愛知県西尾市		2026/1/15
神奈川県横浜市		2026/1/8
神奈川県川崎市		2026/1/13



※散在地域として、長野・北海道にも一部協力を依頼

4. 効果検証指標・手法 | アンケート・インタビュー内容

アンケート、インタビューについて

アンケート

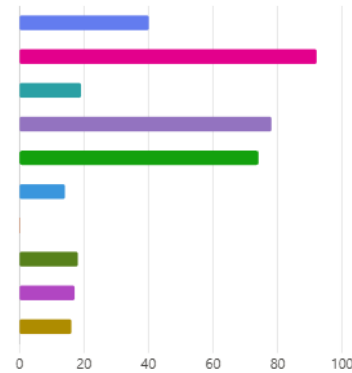
推進委員、フィールドアドバイザー、に協力いただき、関係者へWebアンケートを実施。アンケートは「ことばの力のものさし」関連(27問)(※)、「見取りと指導のアドバイスシート」(※)関連(21問)、「生成AI活用」関連(8問)の3カテゴリで全56問。1～4点+わからないの選択式設問と自由記述式の設問で構成。

(※)事前にサンプルデータを提供

326回答

1. 回答者のお立場 (兼務の場合は複数回答可)

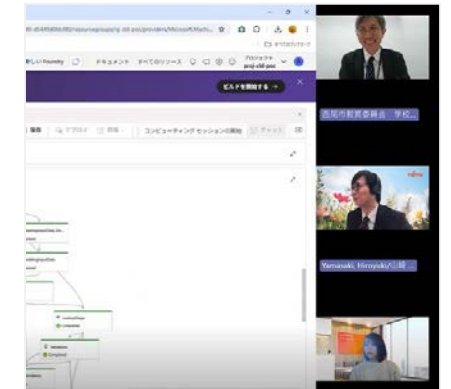
管理職	40
日本語指導担当 (常勤)	92
日本語指導担当 (非常勤)	19
学級担任	78
教科担当	74
母語支援担当 (常勤)	14
母語支援担当 (非常勤)	0
コーディネーター的役割	18
教育委員会指導主事	17
その他	16



インタビュー

フィールドアドバイザーへ対面/オンラインにて1～2時間のインタビューを実施。インタビューでは実証フィールドでの多文化多言語のルーツの子どもの受入れ状況や、生成AIにて出力したアセスメント、アドバイスについて意見交換、アンケート結果の共有などを実施。

7名(5自治体)



5. まとめと今後の展望

- ・ サマリー
- ・ 今後期待されている機能

5. まとめと今後の展望 | サマリー

残課題対応と目指すべき姿についてのサマリー

今後のサービスインに向けては、第三章で示した課題への対応に加え、

本実証で得られた知見から、AIセーフティガイドラインへの準拠と、教員の能力拡張を促す役割としてAIを位置づける必要性が明らかになった。

課題対応

教師データの課題

🎯 データ拡充

- ✓ 追加でデータ収集することで、現在網羅できていないケースについても対応できるようにする。
- ✓ データクレンジングを実施することで、個別最適なアドバイスと汎用的なアドバイスのバランスを最適化する。
- ✓ 教師データを分析し、少ないデータで精度を維持できる方法を検討する。

INPUTデータの課題

🎯 AI機能充実

- ✓ マルチモーダル対応の音声認識による「ことばの力」の評価機能を実装し、教員の入力負担を軽減し、入力に必要な専門性を補完する。

OUTPUTデータの課題

🎯 UI/UX改善

- ✓ 見取りと指導のアドバイスシートを画面上に実装し、UI/UXを改善することで、情報の読みやすさを高め、読み解きに必要な教員の専門性を補完する。

実証で得られた知見から見えた「次に目指すべき姿」

AIセーフティガイドラインへの対応

- 教育現場で安心・安全に利用してもらうため、AI倫理・AIセーフティへの対応は必須。

教員の能力拡張を促すAI

- AIは、教員の作業を単に代替するツールではなく、教員の専門性を補完・拡張するパートナーとして機能することが求められる。
(詳細は「5. まとめと今後の展望 | 今後期待されている機能」参照)

5. まとめと今後の展望 | 今後期待されている機能

見取りと指導のアドバイスシートにおける利便性・視認性の向上

第三章に示したOUTPUTの課題（情報量が多い、「ことばの力のものさし」の理解が必要）といった課題に対して、アドバイスシートのUI/UXを改善し、利便性を高めていくことを検討。

- データ拡充
- UI/UX改善

- 忙しい教員も読みやすいUI/UX
⇒「自分が今読みたい部分」をすぐに読める構成（担任／日本語指導担当／管理職など）
- 多文化多言語の子どもへの指導経験が浅い教員でも使いこなせるUI/UX
⇒判定されたステージやステップについてクリックすると、「ことばの力のものさし」にて説明されている記述文を確認することができる仕組み。

本実証の見取りと指導のアドバイスシート

現在のアドバイスシートは、多岐にわたる項目を網羅しており、教員にとって読みづらい構成となっていました。特に「ことばの力のものさし」に関する情報は、表の奥深くに埋め込まれており、必要な情報を素早く見つけることが困難でした。

※画面イメージ（検討中）

検討中の新デザインでは、情報の整理と視認性を向上させるために、以下のような改善が検討されています。

- 現在の状態と今後の目標の可視化:** 「ことばの力のものさし」の進捗状況を、現在の状態と「今から6カ月後の目標」として、段階別（聞く・話す、読む、書く）のグラフで視覚的に示す。
- 詳細情報のクリック機能:** 各段階（聞く・話す、読む、書く）をクリックすると、その段階に該当する「ことばの力のものさし」の具体的な説明と指導方法が展開される。
- 指導方針のナビゲーション:** 担任、教科指導、日本語指導担当、管理職、保護者など、関係する役割ごとに、必要な情報にアクセスできる仕組みを検討中。
- 情報の整理と見出し:** 見出しを明確にし、関連する情報をグループ化することで、教員が自分の役割や関心のある部分に素早くアクセスできるようにする。

5. まとめと今後の展望 | 今後期待されている機能

今後期待されている具体的な機能と将来的な役割

現場からは具体的な『機能』の充実が求められる一方、将来的には、教員の専門性を支えるパートナーとしてのAIを目指す。

AI機能充実

現場から求められる具体的な機能（インタビュー、アンケートより）

母語による見取りの支援

母語の力のアセスメントは難しいのでAIによる支援の仕組みが整うと現場の助けになると思う。

マルチモーダル対応の音声認識による、ことばの力の評価機能



情報量の最適化と直感的なレイアウト

教員の習熟度や状況によってみるべき情報や情報量も変わってくるので、一度にすべての情報が出力されるのではなく、教員が情報を選択して確認できる仕組みがあると良い。

教員の習熟度に合わせて表示情報のレベルや量を調整できるUI/UX

重要な個所は太字になると良い。

視覚的に読みやすいUIデザイン

AIが目指すべき本質的な役割（将来の在り方）

教員の「子どもを見抜く力」を最大限に引き出すAI

目の前の子どもが何に困っているのか見抜くことができれば、正しい支援ができるはずである。環境整備や意識改革が急務である。

指導の準備段階（カリキュラムの作成等）を担うAI

最終的にクラスで実践するのは教員である。AIが準備段階を担うことで、教員は「どうすれば効果的な活動ができるか」という実践面に力を注ぎ、自身のスキルを上げていくことが重要である。

教員が多文化多言語の子どもを的確に見取り、その実態に応じた指導を実施・専門性向上

多文化多言語の子どもを誰一人取り残さない教育

Appendix

- ・ アンケート設問一覧
- ・ アンケート回答

アンケート設問



多文化多言語の子どもの「見取りと指導のアドバイスシート」に関するアンケート

文部科学省「学びの充実など教育課題の解決に向けた教育分野特化の生成AIの実証研究事業」（令和6年度補正予算事業）にて富士通Japan株式会社が推進する、「多文化多言語の子どものことばの発達と習得状況の見取りによる個別最適な指導の実現」プロジェクトにおけるアンケートです。

【所要時間】

- 15~30分程度

【注意事項】

- 本アンケートでは、外国につながる児童生徒を「多文化多言語の子ども」と表記します。
- 個人情報（学校名、氏名等）の入力はお控えください。
- アンケート入力途中の回答は保存されません。アンケート入力後は、必ず最後の「送信」を押して回答を完了してください。
- 回答の進捗表示（ページ数）はご回答内容に応じてシステム側で自動的に更新されるため、ページ数が飛ぶ場合がございますがご放念ください。

このフォームを送信する際に、お客様が、ご自身のお名前やメールアドレスなどの詳細情報を入力しない限り、その情報が自動的に取得されることはありません。

* 必須

アンケート設問

携わっている支援の基本情報について (1/2)

携わっている支援の基本情報について

1. 回答者のお立場（兼務の場合は複数回答可）*

- 管理職
- 日本語指導担当（常勤）
- 日本語指導担当（非常勤）
- 学級担任
- 教科担当
- 母語支援担当（常勤）
- 母語支援担当（非常勤）
- コーディネーター的役割
- 教育委員会指導主事
- その他

2. 所属自治体（例：大阪府門真市）*

3. 学校種*

- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- その他

4. 該当する高等学校*

- 全日制
- 定時制
- 通信制

5. 在籍する多文化多言語の児童生徒数*

- 0
- 1～5
- 6～10
- 11～20
- 21～30
- 31～50
- 51～100

アンケート設問

携わっている支援の基本情報について (2/2)

6. 在籍する多文化多言語の児童生徒数のうち、日本語指導が必要な児童生徒数*

- 0
- 1～5
- 6～10
- 11～20
- 21～30
- 31～50
- 51～100
- 101～

7. 特別の教育課程を実施していますか*

- はい
- いいえ

8. 日本語指導が必要かどうかの判断をどのような基準で行なっていますか（複数回答可）*

- 「ことばの力のものさし」により判定している
- 「DLA」「JSL評価参照枠」により判定している
- 「学習目標例」により判定している
- 「バンドスケール」（早稲田大学作成）により判定している
- 自治体や学校等で作成した評価方法や類似の測定方法により判定している
- 児童生徒の学校生活や学習の様子から判断している
- 児童生徒の来日してからの期間を対象基準にしている
- その他

9. 多文化多言語の子どもの支援に直接関わっていますか*

- はい
- いいえ

10. 経験年数*

- 1年
- 2～3年
- 4～7年
- 8年以上

11. 現在、どのような関わりがありますか（自由記述）
例：担任するクラスの中に3名いて、教科（数学）でも担当している
取り出しや入り込みで10名の児童の日本語指導を担当している

回答を入力してください

Appendix | アンケート設問一覧

アンケート設問

「ことばの発達と習得のものさし」 (ことばの力のものさし) について (1/2)

多文化多言語の子どもの「見取りと指導のアドバイスシート」に関するアンケート

* 必須

「ことばの発達と習得のものさし」 (ことばの力のものさし) について

2025年4月文部科学省から多文化多言語の子どものことばの力の評価の枠組みである「文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のための「ことばの発達と習得のものさし」 (ことばの力のものさし) が発行されました。

文部科学省サイト：
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1345413_00002.html

以下のガイドをご参照ください。
文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のためのことばの発達と習得のものさしバツとわかるまるわかりガイド (令和7年4月発行版) :
https://www.mext.go.jp/content/20250620_mxt_kyokoku-000042836_01.pdf

12. 「ことばの力のものさし」を知っていますか*

- 記述文の内容までよく知っている
- 概要を知っている
- 名前を聞いたことがあるが詳しくは知らない
- 全く知らない

13. 「ことばの発達と習得のものさし」 (ことばの力のものさし) について 1 / 3 *

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う	わからない
「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」の2つの軸で見る見方はわかりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「ことばの力のものさし」の使用により、子どもの変化や成長の兆しを捉えやすくなる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
指導・支援内容を決める際に、「ことばの力のものさし」は参考になる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校内で教員・支援者同士で多文化多言語の子どもの状況を共有する際、「ことばの力のものさし」が共通言語として機能する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外部の関係者との連携において、「ことばの力のものさし」は役立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「ことばの力のものさし」を使うことで、多文化多言語の子どもの実態を従来より具体的に説明できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他の教員や支援者にも、「ことばの力のものさし」を勧めたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「ことばの力のものさし」の記述文の量や内容は、実務で扱いやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
日本語の力だけでなく、母語も含めた包括的なことばの力の理解に役立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
今後も継続して、「ことばの力のものさし」を使いたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「斜め方向の支援」と「たて方向の支援」の図はわかりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Appendix | アンケート設問一覧

アンケート設問

「ことばの発達と習得のものさし」(ことばの力のものさし)について (2/2)

14. 「ことばの発達と習得のものさし」(ことばの力のものさし)について 2 / 3 *

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う	わからない
「ことばの力のものさし」の研修や説明があれば、誰でも使えると感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「ことばの力のものさし」は、多文化多言語の子どものことばの発達と習得を把握するうえで役に立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「ことばの力のものさし」は学校全体の支援体制の改善に役立つと感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
保護者への説明を行う際に、「ことばの力のものさし」は役立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「ことばの力のものさし」の使用により、子どもの強みを捉える視点が広がる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「ことばの力のものさし」の記述文を読んで、具体的な指導・支援方法を思いつくことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「ことばの力のものさし」の運用にかかる時間は妥当だと感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもの「できていること」「次にできそうなこと」を整理する際に、「ことばの力のものさし」は役立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ことばの力以外に、子どもの背景や「できること」を捉える視点が広がる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」の2つの軸で見える見方は役に立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ステージとステップのマトリクス図はわかりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

15. 「ことばの発達と習得のものさし」(ことばの力のものさし)について 3 / 3 *

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う	わからない
「包括的なことばの発達ステージ」〈聞く・話す〉の記述文は理解しやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「包括的なことばの発達ステージ」〈読む〉の記述文は理解しやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「包括的なことばの発達ステージ」〈書く〉の記述文は理解しやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「日本語の習得ステップ」〈聞く・話す〉の記述文は理解しやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「日本語の習得ステップ」〈読む〉の記述文は理解しやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「日本語の習得ステップ」〈書く〉の記述文は理解しやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

16. 「ことばの力のものさし」について、気がつくことがあれば何でもご記載ください (自由記述)

回答を入力してください

Appendix | アンケート設問一覧

アンケート設問

「見取りと指導のアドバイスシート」について

「見取りと指導のアドバイスシート」について

見取りと指導のアドバイスシートとは、子どもの個々の状況に応じて、「ことばの力のものさし」を基に「包括的なことばの発達ステージ」、「日本語の習得ステップ」、「目標」、「指導に関するアドバイス」等をまとめたものです。

見取りと指導のアドバイスシートの例は、アンケートのご依頼と同時にご案内しているものを参照ください。

17. 「見取りと指導のアドバイスシート」について 1 / 2 *

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う
アドバイシートの構成やレイアウトは読みやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提案されている指導方法は、具体性があり実行可能だと感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アドバイシートの内容は、学校外の支援者や関係者との連携に活用しやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アドバイスシートは、児童生徒の理解と指導改善に役立つと感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アドバイシートの内容は、学校内で教員・支援者同士での情報共有に役立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アドバイシートを読むことで、児童生徒の学びの全体像が掴みやすくなる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
校内の支援会議やケース会議で、子どもの状況を説明する際に役立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもの「つまずき」や「支援ニーズ」が適切に把握されていると感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもの「強み」が明確に示されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
必要な情報が適切にまとめられていると感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

18. 「見取りと指導のアドバイスシート」について 2 / 2 *

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う
(母語の翻訳があれば) 子どもの成長や課題を、保護者に伝える際の根拠を示すのに役立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
今後もアドバイスシートを活用したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アドバイスシートに記載された指導のポイントは、現場の実践に取り入れやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
実務の中で扱いやすい分量になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもの「次に伸ばしたい力」が明確に示されており、指導につなげやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
観察内容が具体的に記述されており、理解しやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他の教員や支援者にも活用を勧めたいと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アドバイスシートにより、授業や個別指導の計画を立てやすくなる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(母語の翻訳があれば) アドバイスシートは、保護者への説明資料としても使いやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アドバイスシートは多文化多言語の子どもの言語的特徴や学習上のニーズを分かりやすく整理している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

19. 「見取りと指導のアドバイスシート」について、気がつくことがあれば何でもご記載ください (自由記述)

回答を入力してください

Appendix | アンケート設問一覧

アンケート設問

生成AIの活用について

生成AIの活用について

20. 生成AIの活用 *

	まったく思わない	あまり思わない	ややそう思う	とてもそう思う
日常的に生成 AI (ChatGPT 等) を活用し、指導に役立っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
多文化多言語の子どもの教育に特化した生成 AI があれば活用したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生成AIの支援なしでこのアドバイシットを作成するために必要な専門知識やスキルが、自分には不足していると感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生成 AI が仮にこのような見取りと指導のアドバイシットを作成したら、見取りに役立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生成 AI が仮にこのような見取りと指導のアドバイシットを作成したら、指導に役立つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

21. 多文化多言語の子どもの見取りと指導に生成 AI (ChatGPT 等) をすでに活用している *

- よく活用している
- 一度～数回だけ活用したことがある
- 活用してみたいと考えているが、まだ実践はしていない
- 活用したことがない

22. 生成 AI を活用し、期待した効果が得られている *

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまり思わない
- まったく思わない

23. 生成AIの活用について、気がつくことがあれば何でもご記載ください (自由記述)

回答を入力してください

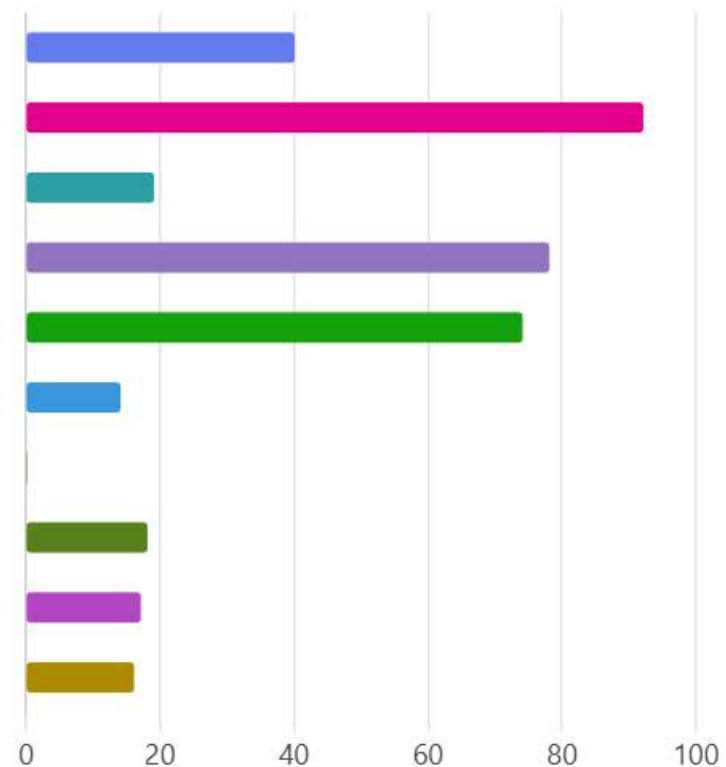
Appendix | アンケート回答

アンケート回答

1. 回答者のお立場（兼務の場合は複数回答可）

[詳細情報](#)

● 管理職	40
● 日本語指導担当（常勤）	92
● 日本語指導担当（非常勤）	19
● 学級担任	78
● 教科担当	74
● 母語支援担当（常勤）	14
● 母語支援担当（非常勤）	0
● コーディネーター的役割	18
● 教育委員会指導主事	17
● その他	16



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

2. 所属自治体 (例：大阪府門真市)

[詳細情報](#)

326
応答

最新の回答

"長野県長野市"

"大阪府教育庁"

"川崎市"

...

99回答者 (30%) この質問に 愛知県西尾市回答しました。



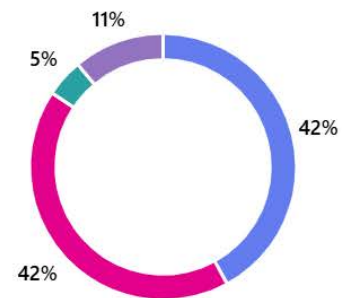
Appendix | アンケート回答

アンケート回答

3. 学校種

[詳細情報](#)

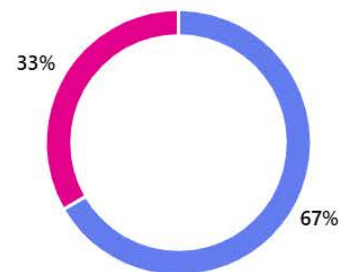
● 小学校	137
● 中学校	138
● 高等学校	15
● その他	36



4. 該当する高等学校

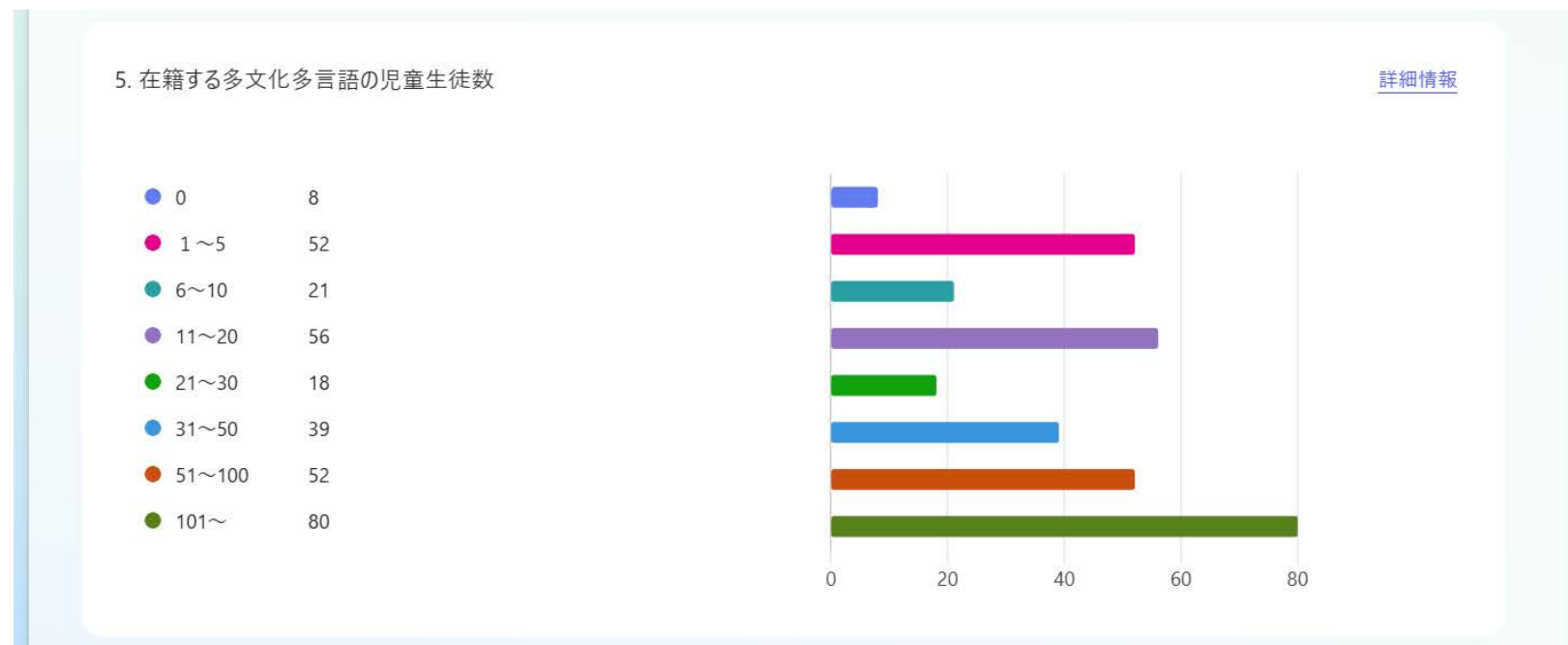
[詳細情報](#)

● 全日制	10
● 定時制	5
● 通信制	0



Appendix | アンケート回答

アンケート回答



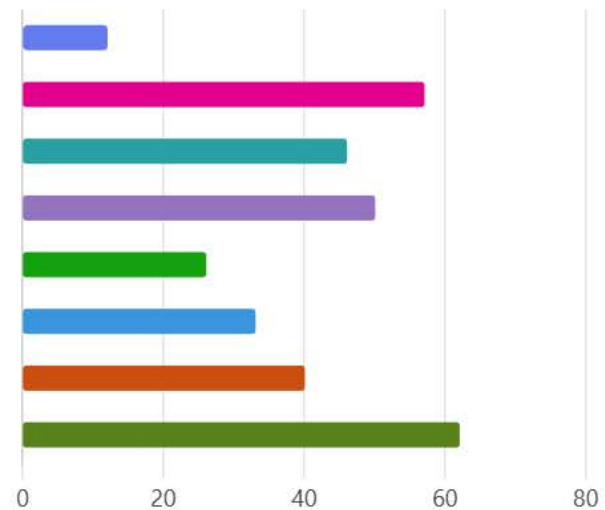
Appendix | アンケート回答

アンケート回答

6. 在籍する多文化多言語の児童生徒数のうち、日本語指導が必要な児童生徒数

[詳細情報](#)

● 0	12
● 1～5	57
● 6～10	46
● 11～20	50
● 21～30	26
● 31～50	33
● 51～100	40
● 101～	62



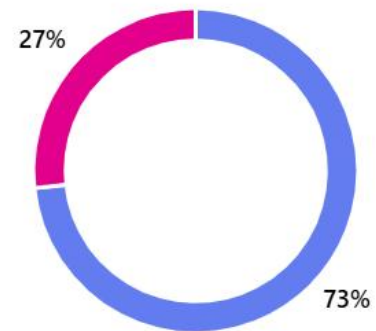
Appendix | アンケート回答

アンケート回答

7. 特別の教育課程を実施していますか

[詳細情報](#)

- はい 239
- いいえ 87

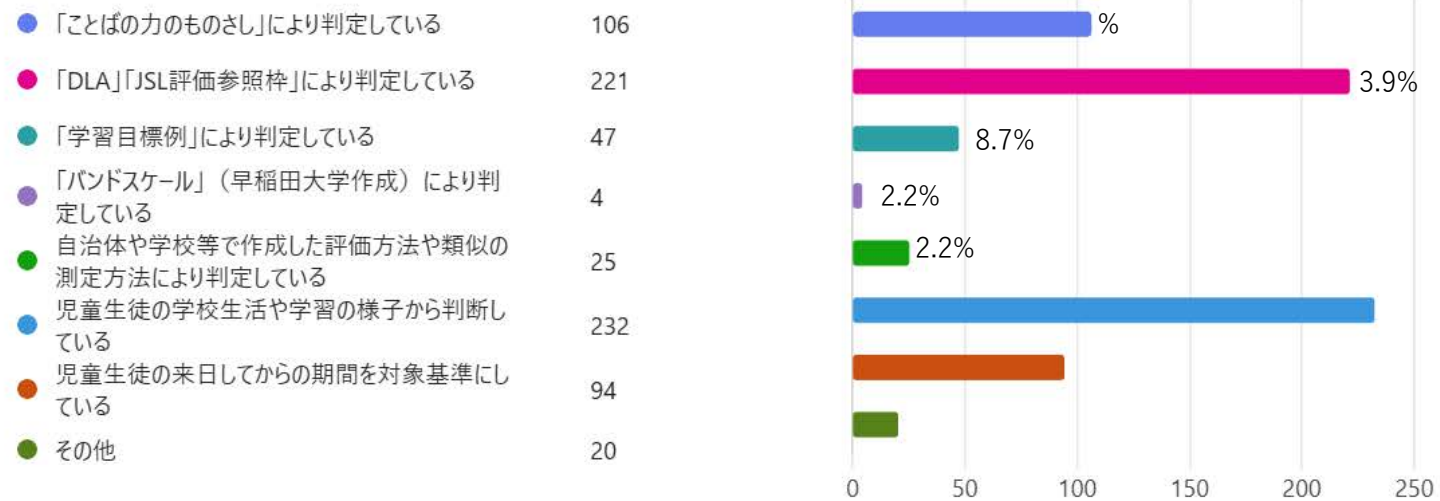


Appendix | アンケート回答

アンケート回答

8. 日本語指導が必要かどうかの判断をどのような基準で行なっていますか（複数回答可）

[詳細情報](#)



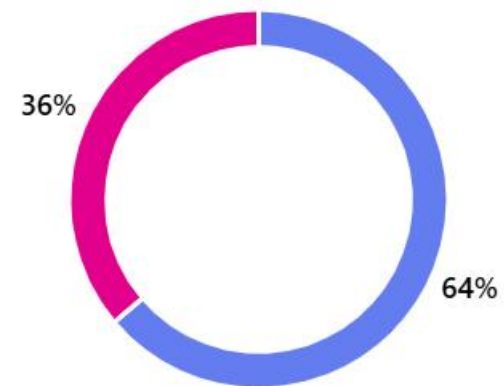
Appendix | アンケート回答

アンケート回答

9. 多文化多言語の子どもの支援に直接関わっていますか

[詳細情報](#)

● はい	208
● いいえ	118



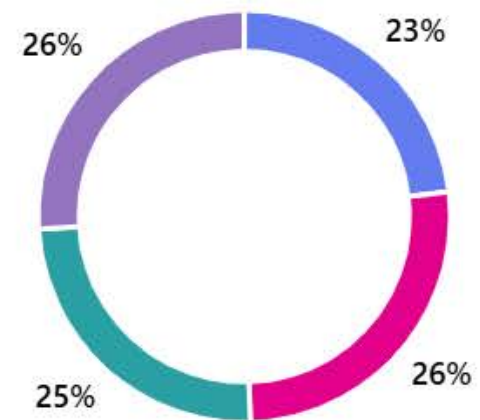
Appendix | アンケート回答

アンケート回答

10. 経験年数

[詳細情報](#)

● 1年	48
● 2～3年	55
● 4～7年	51
● 8年以上	54



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

11. 現在、どのような関わりがありますか（自由記述）

例：担任するクラスの中に3名いて、教科（数学）でも担当している
取り出しや入り込みで10名の児童の日本語指導を担当している

[詳細情報](#)

198
応答

最新の回答

"取り出しや入り込みで6名の児童の日本語指導を担当している"

"取り出しでのオンライン日本語指導を担当している"

"週一回の巡回指導員として2名の生徒を取り出しや入り込みで指導している。"

...

113回答者 (57%) この質問に 指導回答しました。

担任 日本語指導 教科 支援 担任するクラス
生徒 取り出し 指導 担当 込み 日本語 国語
クラス 教 授業 児童 入り込み するクラス 出し 名

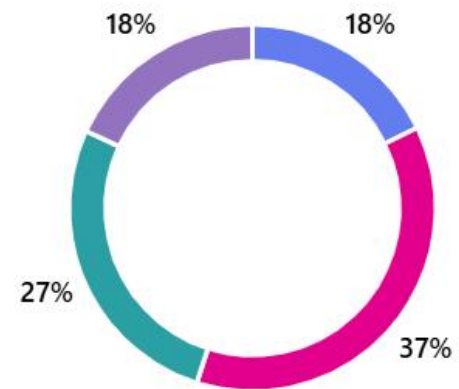
Appendix | アンケート回答

アンケート回答

12. 「ことばの力のものさし」を知っていますか

[詳細情報](#)

● 記述文の内容までよく知っている	58
● 概要を知っている	121
● 名前を聞いたことがあるが詳しくは知らない	88
● 全く知らない	59



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

13. 「ことばの発達と習得のものさし」(ことばの力のものさし) について 1 / 3

[詳細情報](#)

● まったくそう思わない ● あまりそう思わない ● ややそう思う ● とてもそう思う

「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」の2つの軸で見る見方はわかりやすい

「ことばの力のものさし」の使用により、子どもの変化や成長の兆しを捉えやすくなる

指導・支援内容を決める際に、「ことばの力のものさし」は参考になる

学校内で教員・支援者同士で多文化多言語の子どもの状況を共有する際、「ことばの力のものさし」が共通言語として機能する

外部の関係者との連携において、「ことばの力のものさし」は役立つ

「ことばの力のものさし」を使うことで、多文化多言語の子どもの実態を従来より具体的に説明できる

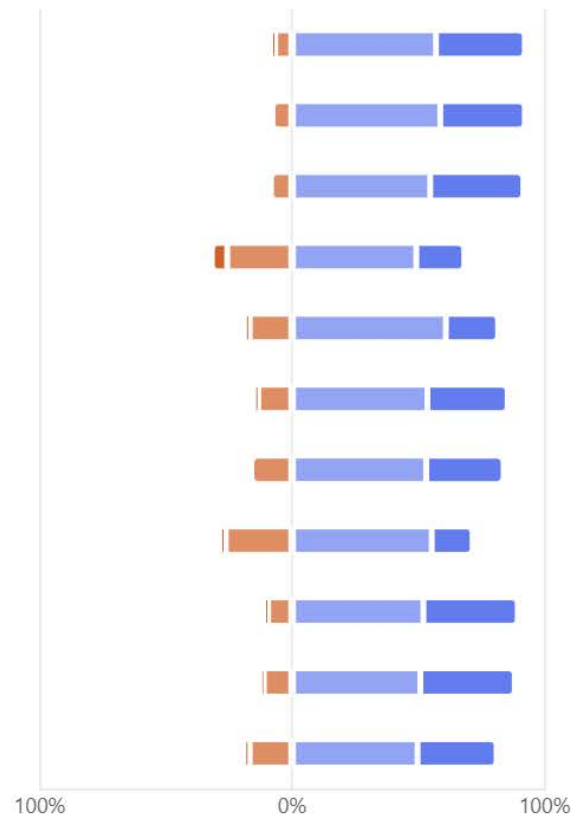
他の教員や支援者にも、「ことばの力のものさし」を勧めたい

「ことばの力のものさし」の記述文の量や内容は、実務で扱いやすい

日本語の力だけでなく、母語も含めた包括的なことばの力の理解に役立つ

今後も継続して、「ことばの力のものさし」を使いたい

「斜め方向の支援」と「たて方向の支援」の図はわかりやすい



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

設問	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う
「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」の2つの軸で見る見方はわかりやすい	1.1%	6.7%	57.0%	35.2%
「ことばの力のものさし」の使用により、子どもの変化や成長の兆しを捉えやすくなる	0.0%	7.8%	58.7%	33.5%
指導・支援内容を決める際に、「ことばの力のものさし」は参考になる	0.0%	8.4%	54.7%	36.9%
学校内で教員・支援者同士で多文化多言語の子どもの状況を共有する際、「ことばの力のものさし」が共通言語として機能する	6.1%	25.7%	49.2%	19.0%
外部の関係者との連携において、「ことばの力のものさし」は役立つ	1.7%	16.8%	60.9%	20.7%
「ことばの力のものさし」を使うことで、多文化多言語の子どもの実態を従来より具体的に説明できる	1.1%	13.4%	53.6%	31.8%
他の教員や支援者にも、「ことばの力のものさし」を勧めたい	0.0%	16.2%	53.1%	30.7%
「ことばの力のものさし」の記述文の量や内容は、実務で扱いやすい	2.2%	26.3%	55.3%	16.2%
日本語の力だけでなく、母語も含めた包括的なことばの力の理解に役立つ	1.1%	9.5%	52.0%	37.4%
今後も継続して、「ことばの力のものさし」を使いたい	0.6%	11.2%	50.8%	37.4%
「斜め方向の支援」と「たて方向の支援」の図はわかりやすい	2.2%	16.8%	49.7%	31.3%

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

14. 「ことばの発達と習得のものさし」(ことばの力のものさし)について 2 / 3

[詳細情報](#)

● まったくそう思わない ● あまりそう思わない ● ややそう思う ● とてもそう思う

「ことばの力のものさし」の研修や説明があれば、誰でも使えると感じる

「ことばの力のものさし」は、多文化多言語の子どものことばの発達と習得を把握するうえで役に立つ

「ことばの力のものさし」は学校全体の支援体制の改善に役立つと感じる

保護者への説明を行う際に、「ことばの力のものさし」は役立つ

「ことばの力のものさし」の使用により、子どもの強みを捉える視点が広がる

「ことばの力のものさし」の記述文を読んで、具体的な指導・支援方法を思いつくことができる

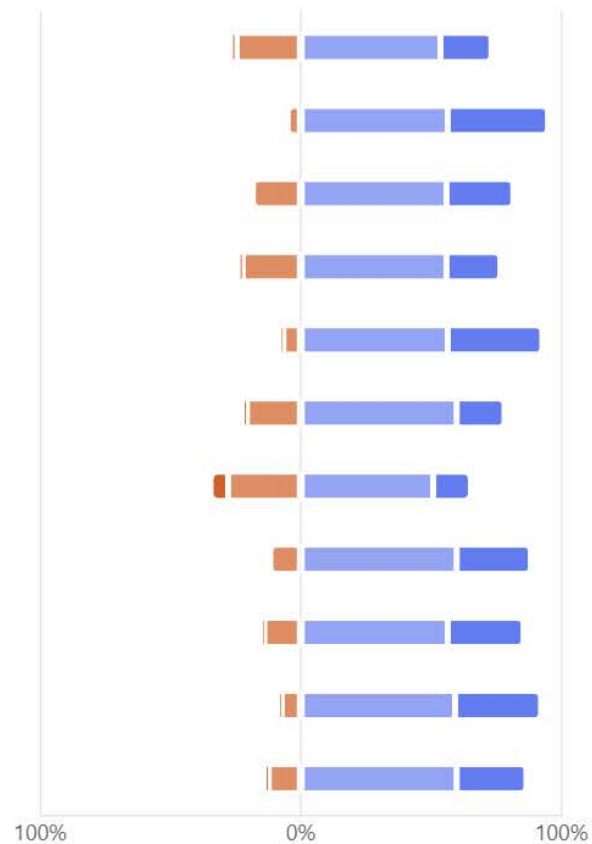
「ことばの力のものさし」の運用にかかる時間は妥当だと感じる

子どもの「できていること」「次にできそうなこと」を整理する際に、「ことばの力のものさし」は役立つ

ことばの力以外に、子どもの背景や「できること」を捉える視点が広がる

「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」の2つの軸で見る見方は役に立つ

ステージとステップのマトリックス図はわかりやすい



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

設問	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う
「ことばの力のものさし」の研修や説明があれば、誰でも使えると感じる	2.2%	24.6%	53.6%	19.6%
「ことばの力のものさし」は、多文化多言語の子どものことばの発達と習得を把握するうえで役に立つ	0.0%	5.0%	56.4%	38.5%
「ことばの力のものさし」は学校全体の支援体制の改善に役立つと感じる	0.0%	18.4%	55.9%	25.7%
保護者への説明を行う際に、「ことばの力のものさし」は役立つ	1.1%	22.3%	55.9%	20.7%
「ことばの力のものさし」の使用により、子どもの強みを捉える視点が広がる	0.6%	6.7%	56.4%	36.3%
「ことばの力のものさし」の記述文を読んで、具体的な指導・支援方法を思い出すことができる	1.1%	20.7%	59.8%	18.4%
「ことばの力のものさし」の運用にかかる時間は妥当だと感じる	6.7%	27.9%	50.8%	14.5%
子どもの「できていること」「次にできそうなこと」を整理する際に、「ことばの力のものさし」は役立つ	0.0%	11.7%	59.8%	28.5%
ことばの力以外に、子どもの背景や「できること」を捉える視点が広がる	0.6%	14.0%	56.4%	29.1%
「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」の2つの軸で見る見方は役に立つ	0.6%	7.3%	59.2%	33.0%
ステージとステップのマトリックス図はわかりやすい	1.1%	12.3%	59.8%	26.8%

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

15. 「ことばの発達と習得のものさし」(ことばの力のものさし) について 3 / 3

[詳細情報](#)

● まったくそう思わない ● あまりそう思わない ● ややそう思う ● とてもそう思う

「包括的なことばの発達ステージ」〈聞く・話す〉の記述文は理解しやすい

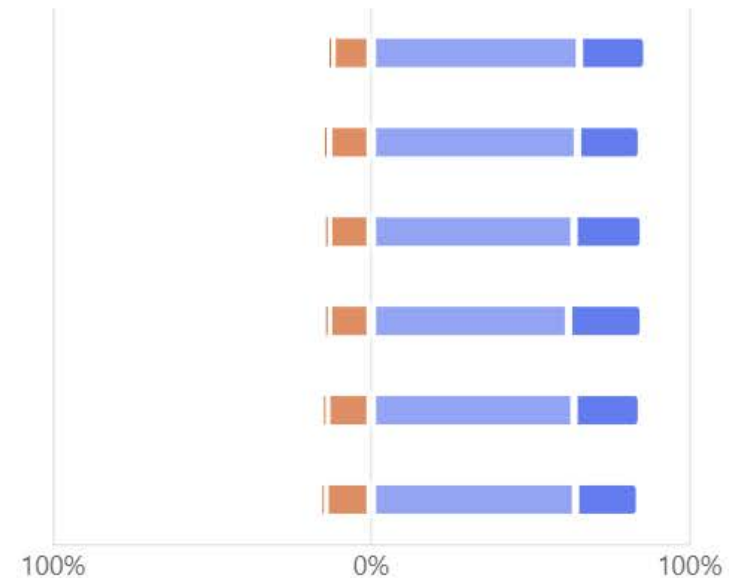
「包括的なことばの発達ステージ」〈読む〉の記述文は理解しやすい

「包括的なことばの発達ステージ」〈書く〉の記述文は理解しやすい

「日本語の習得ステップ」〈聞く・話す〉の記述文は理解しやすい

「日本語の習得ステップ」〈読む〉の記述文は理解しやすい

「日本語の習得ステップ」〈書く〉の記述文は理解しやすい



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

設問	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う
「包括的なことばの発達ステージ」〈聞く・話す〉の記述文は理解しやすい	1.1%	12.3%	65.4%	21.2%
「包括的なことばの発達ステージ」〈読む〉の記述文は理解しやすい	1.7%	13.4%	64.8%	20.1%
「包括的なことばの発達ステージ」〈書く〉の記述文は理解しやすい	1.1%	13.4%	63.7%	21.8%
「日本語の習得ステップ」〈聞く・話す〉の記述文は理解しやすい	1.1%	13.4%	62.0%	23.5%
「日本語の習得ステップ」〈読む〉の記述文は理解しやすい	1.1%	14.0%	63.7%	21.2%
「日本語の習得ステップ」〈書く〉の記述文は理解しやすい	1.1%	14.5%	64.2%	20.1%

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

16. 「ことばの力のものさし」について、気がつくことがあれば何でもご記載ください（自由記述）

[詳細情報](#)

55
応答

最新の回答

"日本語での表現力だけで能力を判断すべきではないということが分かりました。"

...

41回答者 (75%) この質問にし回答しました。

思い
ため
さし
判断
た
理解
現
こ
し
言葉
き
時間
ことば
も
研
力
ステージ
ものさし
要
ステップ

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

16. 「ことばの力のものさし」について、気がつくことがあれば何でもご記載ください（自由記述）

「12. 「ことばの力のものさし」を知っていますか」の設問にて、「記述分の内容までよく知っている」ないしは「概要を知っている」と回答した人による自由記述

回答内容（一部抜粋）

ことばの力をどう捉え、どう評価したらいいか、という概念についてはよく理解できるし、これをうまく当てはめられれば、生徒の状況を正確に把握して、取組みを考えることができる、と思う一方、実際に生徒をアセスメントして、どの段階にあるか正確に見立てて、個別に評価するとともに指導の計画を立てるには、経験もセンスも必要で、しかもかなりの時間と労力を要する。

年齢枠で記述されており、ステージやステップの判断がしやすいです。特に、包括的なことばの力を理解することは、支援に関わるすべてにおいて効果的であると思います。

外国ルーツ生徒が増加する中、一つの基準として広まることは、大変望ましいことだと感じる。

一人ずつ見取るのに時間がかかるため、全員行うのに膨大な時間がかかる。

2023年および2024年に東京外大主催の研修を受けさせていただきました。つまり、みっちり研修を受ける機会をいただきましたし、作成途中の記述文の変化や、作成における作成者の先生方の思いも十分すぎるくらい学ぶ機会を与えていただきました。それでも、正しい診断ができないことがあり、今後も継続的に作成者ご本人を中心とする、ことばのものを熟知されている方による検修を受けることが必要だと感じています。また、本校で、職員間で広く共有していくためには、広める立場である自分が、さらによく理解して伝えていく必要があると思います。

ステージ、ステップを決めるときに子供の実態に幅があり迷う。数字より実態が大切ということは承知していますが、母語での力を測る人や時間がない。

記述文は端的な表現が使われているため、コンパクトにまとまっていてわかりやすいですが、指導の経験が浅い人にとっては、具体的な子どもの姿を誤って捉えてしまう場合もあると感じています。研修等でのブラッシュアップを図りつつ、ものさしを活用していければと考えています。

学びのために必要な力を、「ことばの力」だけでなく「年齢に伴う認知的な発達」にも目を向けられ明記されたことで、指導者の意識が変わる大きな契機になると感じている。言語の力も習得途中の日本語力だけで判断されるのではなく母語も含めたことで、学習場面においても母語の活用も含まれた支援の工夫も考えていこうと思う。各ステージに書かれた項目をみてどれだけ測れるか私たちの研鑽にもかかってくるかと思われる。

日本語指導者、担任や保護者で共有できる明確な物差しが整備されるのは、とても有効だと思う。面談などでも、学習の困難さが言葉の問題なのか否か、という話をする機会が多い。しかし、発達段階を項目で測り切るのが少し難しいと感じる。日本語指導者だけでは見とれない学校生活での様子を担任などと話し合い、ものさしに落とし込む業務量も気になる。日本語指導者は、非常勤の講師なども多いことも理由の一つです。もしこれが、正確に運用できたなら、とてもわかりやすく、指導に生かせると思う。

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

17. 「ことばの発達と習得のものさし」（ことばの力のものさし）について 1 / 3

[詳細情報](#)

● まったくそう思わない ● あまりそう思わない ● ややそう思う ● とてもそう思う ● わからない

「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」の2つの軸で見る見方はわかりやすい

「ことばの力のものさし」の使用により、子どもの変化や成長の兆しを捉えやすくなる

指導・支援内容を決める際に、「ことばの力のものさし」は参考になる

学校内で教員・支援者同士で多文化多言語の子どもの状況を共有する際、「ことばの力のものさし」が共通言語として機能する

外部の関係者との連携において、「ことばの力のものさし」は役立つ

「ことばの力のものさし」を使うことで、多文化多言語の子どもの実態を従来より具体的に説明できる

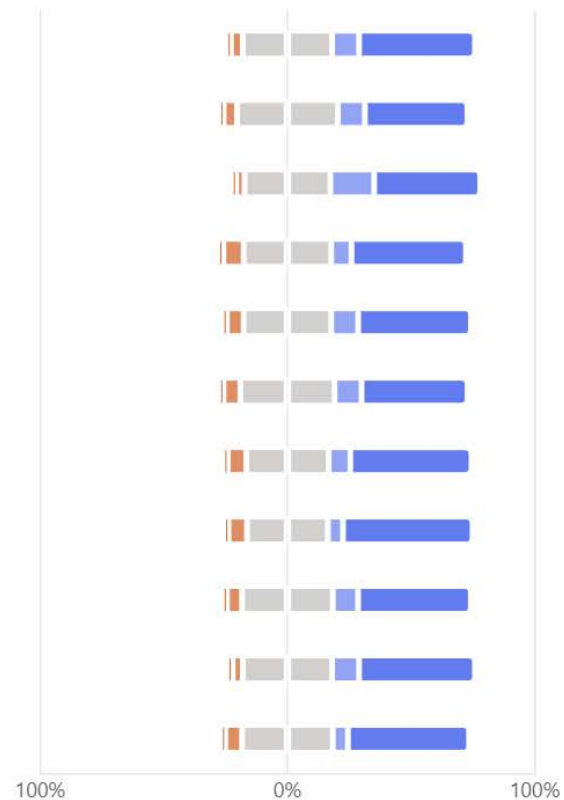
他の教員や支援者にも、「ことばの力のものさし」を勧めたい

「ことばの力のものさし」の記述文の量や内容は、実務で扱いやすい

日本語の力だけでなく、母語も含めた包括的なことばの力の理解に役立つ

今後も継続して、「ことばの力のものさし」を使いたい

「斜め方向の支援」と「たて方向の支援」の図はわかりやすい



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

設問	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う	わからない
「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」の2つの軸で見る見方はわかりやすい	1.4%	4.8%	36.1%	10.9%	46.9%
「ことばの力のものさし」の使用により、子どもの変化や成長の兆しを捉えやすくなる	1.4%	5.4%	40.8%	10.9%	41.5%
指導・支援内容を決める際に、「ことばの力のものさし」は参考になる	1.4%	3.4%	34.7%	17.7%	42.9%
学校内で教員・支援者同士で多文化多言語の子どもの状況を共有する際、「ことばの力のものさし」が共通言語として機能する	2.0%	8.2%	35.4%	8.2%	46.3%
外部の関係者との連携において、「ことばの力のものさし」は役立つ	1.4%	6.8%	35.4%	10.9%	45.6%
「ことばの力のものさし」を使うことで、多文化多言語の子どもの実態を従来より具体的に説明できる	1.4%	6.8%	38.1%	10.9%	42.9%
他の教員や支援者にも、「ことばの力のものさし」を勧めたい	1.4%	7.5%	33.3%	8.8%	49.0%
「ことばの力のものさし」の記述文の量や内容は、実務で扱いやすい	1.4%	7.5%	32.7%	6.1%	52.4%
日本語の力だけでなく、母語も含めた包括的なことばの力の理解に役立つ	1.4%	6.1%	36.7%	10.2%	45.6%
今後も継続して、「ことばの力のものさし」を使いたい	2.0%	4.1%	36.1%	10.9%	46.9%
「斜め方向の支援」と「たて方向の支援」の図はわかりやすい	1.4%	6.8%	36.7%	6.1%	49.0%

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

18. 「ことばの発達と習得のものさし」(ことばの力のものさし)について 2 / 3

[詳細情報](#)

● まったくそう思わない ● あまりそう思わない ● ややそう思う ● とてもそう思う ● わからない

「ことばの力のものさし」の研修や説明があれば、誰でも使えると感じる

「ことばの力のものさし」は、多文化多言語の子どものことばの発達と習得を把握するうえで役に立つ

「ことばの力のものさし」は学校全体の支援体制の改善に役立つと感じる

保護者への説明を行う際に、「ことばの力のものさし」は役立つ

「ことばの力のものさし」の使用により、子どもの強みを捉える視点が広がる

「ことばの力のものさし」の記述文を読んで、具体的な指導・支援方法を思いつくことができる

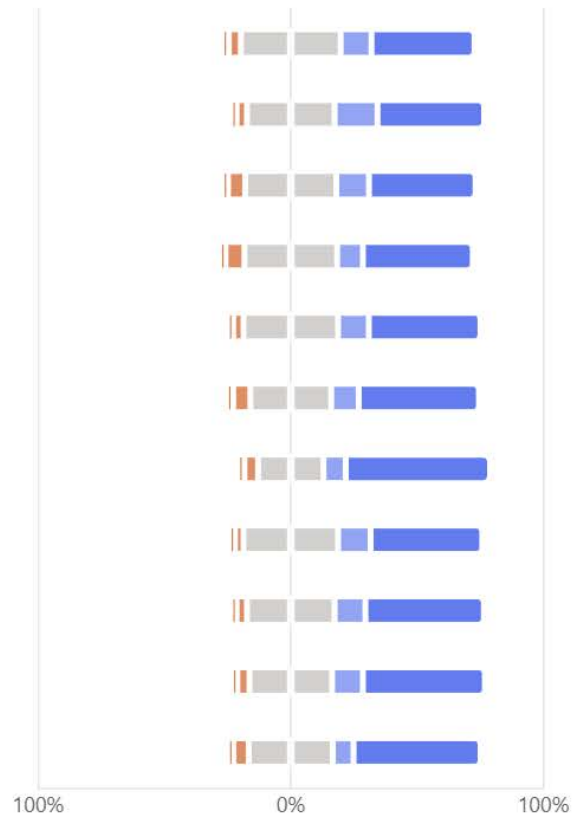
「ことばの力のものさし」の運用にかかる時間は妥当だと感じる

子どもの「できていること」「次にできそうなこと」を整理する際に、「ことばの力のものさし」は役立つ

ことばの力以外に、子どもの背景や「できること」を捉える視点が広がる

「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」の2つの軸で見る見方は役に立つ

ステージとステップのマトリックス図はわかりやすい



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

設問	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う	わからない
「ことばの力のものさし」の研修や説明があれば、誰でも使えると感じる	2.7%	4.8%	39.5%	12.2%	40.8%
「ことばの力のものさし」は、多文化多言語の子どものことばの発達と習得を把握するうえで役に立つ	2.0%	4.1%	34.7%	17.0%	42.2%
「ことばの力のものさし」は学校全体の支援体制の改善に役立つと感じる	2.0%	6.8%	36.1%	12.9%	42.2%
保護者への説明を行う際に、「ことばの力のものさし」は役立つ	2.0%	7.5%	36.7%	10.2%	43.5%
「ことばの力のものさし」の使用により、子どもの強みを捉える視点が広がる	2.0%	4.1%	37.4%	12.2%	44.2%
「ことばの力のものさし」の記述文を読んで、具体的な指導・支援方法を思いつくことができる	2.7%	6.8%	32.0%	10.9%	47.6%
「ことばの力のものさし」の運用にかかる時間は妥当だと感じる	2.7%	5.4%	25.9%	8.8%	57.1%
子どもの「できていること」「次にできそうなこと」を整理する際に、「ことばの力のものさし」は役立つ	2.0%	3.4%	37.4%	12.9%	44.2%
ことばの力以外に、子どもの背景や「できること」を捉える視点が広がる	2.0%	4.1%	34.7%	12.2%	46.9%
「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」の2つの軸で見る見方は役に立つ	2.0%	4.8%	32.7%	12.2%	48.3%
ステージとステップのマトリックス図はわかりやすい	2.0%	6.1%	33.3%	8.2%	50.3%

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

19. 「ことばの発達と習得のものさし」(ことばの力のものさし) について 3 / 3

[詳細情報](#)

● まったくそう思わない ● あまりそう思わない ● ややそう思う ● とてもそう思う ● わからない

「包括的なことばの発達ステージ」〈聞く・話す〉の記述文は理解しやすい

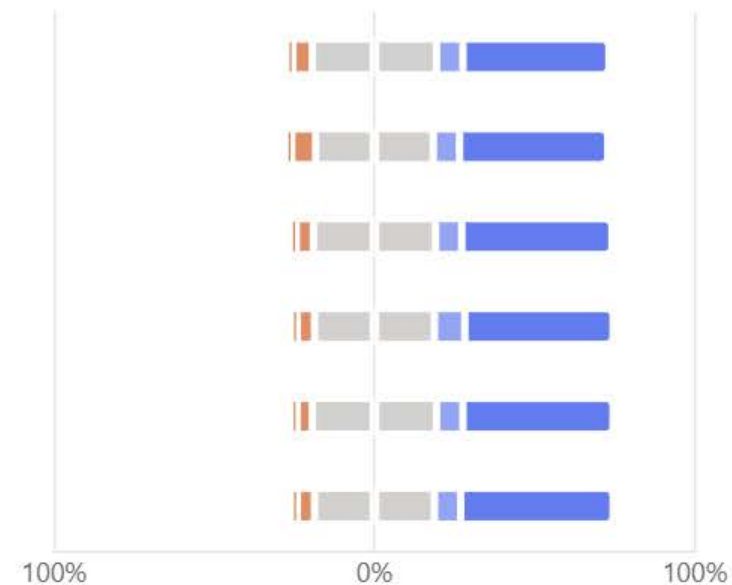
「包括的なことばの発達ステージ」〈読む〉の記述文は理解しやすい

「包括的なことばの発達ステージ」〈書く〉の記述文は理解しやすい

「日本語の習得ステップ」〈聞く・話す〉の記述文は理解しやすい

「日本語の習得ステップ」〈読む〉の記述文は理解しやすい

「日本語の習得ステップ」〈書く〉の記述文は理解しやすい



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

設問	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う	わからない
「包括的なことばの発達ステージ」〈聞く・話す〉の記述文は理解しやすい	1.4%	6.1%	38.8%	8.2%	45.6%
「包括的なことばの発達ステージ」〈読む〉の記述文は理解しやすい	1.4%	7.5%	36.7%	8.2%	46.3%
「包括的なことばの発達ステージ」〈書く〉の記述文は理解しやすい	1.4%	5.4%	38.1%	8.2%	46.9%
「日本語の習得ステップ」〈聞く・話す〉の記述文は理解しやすい	1.4%	5.4%	37.4%	9.5%	46.3%
「日本語の習得ステップ」〈読む〉の記述文は理解しやすい	1.4%	4.8%	38.8%	8.2%	46.9%
「日本語の習得ステップ」〈書く〉の記述文は理解しやすい	1.4%	5.4%	37.4%	8.2%	47.6%

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

20. 「ことばの力のものさし」について、気がつくことがあれば何でもご記載ください（自由記述）

[詳細情報](#)

11
応答

最新の回答

"使用していないため、回答が不可能な設問が多く困りました。"

...

3回答者 (27%) この質問にことば回答しました。

様々な違い
言葉
アセスメント
ことば
外国籍
以前
人材
現場
夏休み
勉強不足
不可能な設問
担任業務を行う中
画一的な基準
早稲田
日本
使用していないため
研修
回答
高校生

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

21. 「見取りと指導のアドバイスシート」について 1 / 2

[詳細情報](#)

● まったくそう思わない ● あまりそう思わない ● ややそう思う ● とてもそう思う

アドバイスシートの構成やレイアウトは読みやすい

提案されている指導方法は、具体性があり実行可能だと感じる

アドバイスシートの内容は、学校外の支援者や関係者との連携に活用しやすい

アドバイスシートは、児童生徒の理解と指導改善に役立つと感じる

アドバイスシートの内容は、学校内で教員・支援者同士での情報共有に役立つ

アドバイスシートを読むことで、児童生徒の学びの全体像が掴みやすくなる

校内の支援会議やケース会議で、子どもの状況を説明する際に役立つ

子どもの「つまずき」や「支援ニーズ」が適切に把握されていると感じる

子どもの「強み」が明確に示されている

必要な情報が適切にまとめられていると感じる



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

設問	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う
アドバイスシートの構成やレイアウトは読みやすい	3.1%	19.9%	66.3%	10.7%
提案されている指導方法は、具体性があり実行可能だと感じる	2.5%	16.3%	68.1%	13.2%
アドバイスシートの内容は、学校外の支援者や関係者との連携に活用しやすい	2.5%	16.6%	63.8%	17.2%
アドバイスシートは、児童生徒の理解と指導改善に役立つと感じる	2.5%	11.3%	64.4%	21.8%
アドバイスシートの内容は、学校内で教員・支援者同士での情報共有に役立つ	2.5%	12.0%	62.6%	23.0%
アドバイスシートを読むことで、児童生徒の学びの全体像が掴みやすくなる	2.5%	14.1%	63.2%	20.2%
校内の支援会議やケース会議で、子どもの状況を説明する際に役立つ	2.1%	14.4%	60.1%	23.3%
子どもの「つまずき」や「支援ニーズ」が適切に把握されていると感じる	2.5%	16.0%	62.0%	19.6%
子どもの「強み」が明確に示されている	2.5%	16.3%	64.4%	16.9%
必要な情報が適切にまとめられていると感じる	3.4%	13.2%	65.6%	17.8%

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

22. 「見取りと指導のアドバイスシート」について 2 / 2

[詳細情報](#)

● まったくそう思わない ● あまりそう思わない ● ややそう思う ● とてもそう思う

(母語の翻訳があれば) 子どもの成長や課題を、保護者に伝える際の根拠を示すのに役立つ

今後もアドバイスシートを活用したい

アドバイスシートに記載された指導のポイントは、現場の実践に取り入れやすい

実務の中で扱いやすい分量になっている

子どもの「次に伸ばしたい力」が明確に示されており、指導につなげやすい

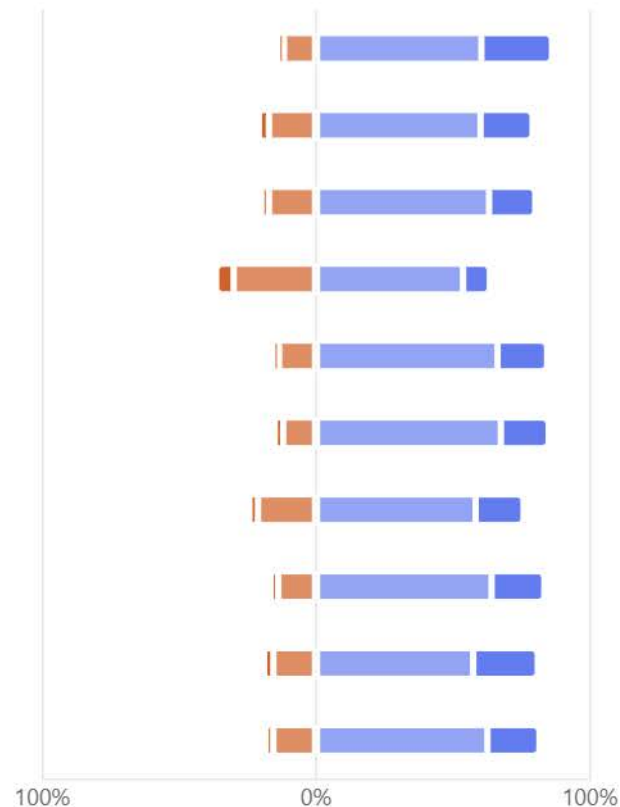
観察内容が具体的に記述されており、理解しやすい

他の教員や支援者にも活用を勧めたいと思う

アドバイスシートにより、授業や個別指導の計画を立てやすくなる

(母語の翻訳があれば) アドバイスシートは、保護者への説明資料としても使いやすい

アドバイスシートは多文化多言語の子どもの言語的特徴や学習上のニーズを分かりやすく整理している



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

設問	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う
(母語の翻訳があれば) 子どもの成長や課題を、保護者に伝える際の根拠を示すのに役立つ	2.1%	11.7%	60.4%	25.8%
今後もアドバイスシートを活用したい	3.7%	17.2%	60.1%	19.0%
アドバイスシートに記載された指導のポイントは、現場の実践に取り入れやすい	2.8%	17.2%	63.2%	16.9%
実務の中で扱いやすい分量になっている	6.4%	30.1%	53.7%	9.8%
子どもの「次に伸ばしたい力」が明確に示されており、指導につなげやすい	2.1%	13.5%	66.3%	18.1%
観察内容が具体的に記述されており、理解しやすい	3.1%	12.0%	67.5%	17.5%
他の教員や支援者にも活用を勧めたいと思う	3.1%	21.2%	58.3%	17.5%
アドバイスシートにより、授業や個別指導の計画を立てやすくなる	2.8%	13.8%	64.1%	19.3%
(母語の翻訳があれば) アドバイスシートは、保護者への説明資料としても使いやすい	3.4%	15.6%	57.4%	23.6%
アドバイスシートは多文化多言語の子どもの言語的特徴や学習上のニーズを分かりやすく整理している	2.8%	15.6%	62.6%	19.0%

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

23. 「見取りと指導のアドバイスシート」について、気がつくことがあれば何でもご記載ください（自由記述）

[詳細情報](#)

最新の回答

49
応答

"案内を受け取っていないため、このシートについての回答をすることが出来ない。"
"分量からして、さあ読むぞとなるには、まとまった時間を要するものかなと感じた。現場に... "
"日本語指導者だけでなく担任、教科担当、管理職、保護者へのアドバイスがあって良... "
...

36回答者 (72%) この質問に回答しました。

[更新](#)

Word cloud visualization of responses. The central word is '取る' (to take/receive). Other prominent words include 'アドバイスシート' (advice sheet), '作成' (creation), '時間' (time), '支援' (support), '担任' (class teacher), '指導' (guidance), '児童' (children), '教科担' (subject teacher), '内容' (content), '情報' (information), 'ため' (for), '方法' (method), '子ども' (children), '管理職' (management staff), '場合' (case), '取' (take), 'さ' (particle), 'シート' (sheet), '支援' (support), '時間' (time), 'アドバイスシート' (advice sheet).

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

23. 「見取りと指導のアドバイスシート」について、気がつくことがあれば何でもご記載ください（自由記述）

[詳細情報](#)

回答内容（一部抜粋）

アドバイスに至るまでに現場が入力しなければならない項目を選択制を取り入れるなどして、負担軽減してほしい。

文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等の教育として、一人の児童生徒の将来に向けて計画的に正しく支援していくことができると思います。アドバイスは、管理職、担任、国際担当など、だれが読んでもわかりやすい文で説明されており、支援方法も具体的です。早く完成できることを期待しています。

正直、関心が薄い人がこの文章量を読むことはないのではないだろうか。具体的に書かれていることの良さが、この文書量とレイアウトでは伝わりにくいと感じる。現在のアドバイスシートは元データとして作成し、それを元にした簡易版があるとよいのではないか。

子どもの姿から、どのような指導が有効か、今後の見通しも含めて大変具体的なアドバイスが書かれていると思いました。一方で、この「よくできている」アドバイスを読んで、それぞれが勝手にわかった気になってしまいそうだと感じました。一般化されたアドバイスだということ認識して、アドバイスシートで気付かされた視点をもとに実際の子どもを見て、それぞれの立場でさらに具体的な指導を考えて、実行する必要があると思います。管理職の欄等連携について書かれていますが、このアドバイスをもとに関係者が集まって具体的な支援方法を出すなどの機会をもつことが重要ではないかと感じました。

支援なしで教科学習に参加できるようになる期間が具体的に記載してあるので、できない＝ダメな子と安易に判断されないと思うのですごく良いと思いました。

児童の実態の現状とアドバイスがポジティブに書かれていてとても良いと思った。担任、教科担任には荷が重い場合もあるが、まずはみんなで共有することができるアドバイスシートだと思う。活用させていただきたい。

とても詳しく書いてあり、児童生徒の姿がイメージでき、非常に役に立ちます。それぞれの立場の人たちにとって目指す方向が見え、とてもいいと思います。

シート自体はよくできていて、全部記入できれば素晴らしい見取りで支援指導に活用できると思います。しかしシートを作成する時間がありません。日本語指導の時間を捻出するだけでも大変なのにDLAを実施したり母語の力を測ったりするのは難しいです。人数も多いので捌ききれません。また、ある程度の期間で修正や目標の再設定が必要だと思うので継続していくためにはもう少し負担の少ないものになるといいと思います。本校の国際教室は私が主担当なのですが、ほかの先生に依頼するのは心苦しく感じてしまいます。

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

24. 生成AIの活用

[詳細情報](#)

● まったくそう思わない ● あまりそう思わない ● ややそう思う ● とてもそう思う

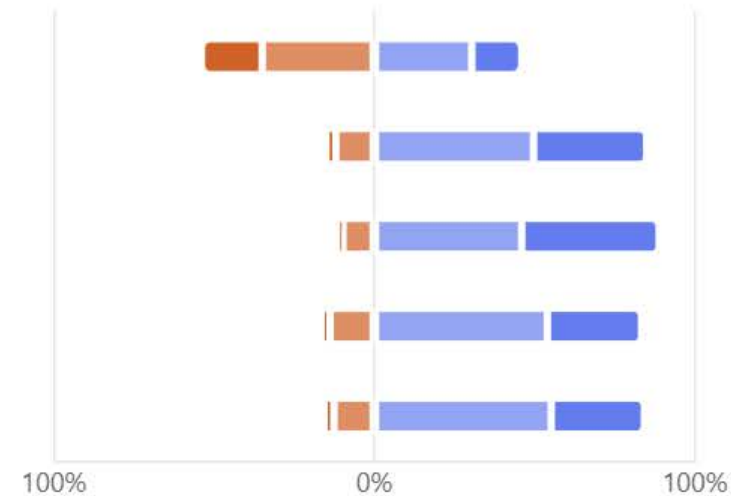
日常的に生成 AI（ChatGPT 等）を活用し、指導に役立てている

多文化多言語の子どもの教育に特化した生成 AI があれば活用したい

生成AIの支援なしでこのアドバイスシートを作成するために必要な専門知識やスキルが、自分には不足していると感じる

生成 AI が仮にこのような見取りと指導のアドバイスシートを作成したら、見取りに役立つ

生成 AI が仮にこのような見取りと指導のアドバイスシートを作成したら、指導に役立つ



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

設問	まったくそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う
日常的に生成 AI（ChatGPT 等）を活用し、指導に役立っている	19.0%	35.0%	30.4%	15.6%
多文化多言語の子どもの教育に特化した生成 AI があれば活用したい	3.1%	12.0%	49.7%	35.3%
生成 AI の支援なしでこのアドバイスシートを作成するために必要な専門知識やスキルが、自分には不足していると感じる	1.2%	9.8%	46.0%	42.9%
生成 AI が仮にこのような見取りと指導のアドバイスシートを作成したら、見取りに役立つ	2.8%	13.8%	54.0%	29.4%
生成 AI が仮にこのような見取りと指導のアドバイスシートを作成したら、指導に役立つ	3.1%	12.6%	55.2%	29.1%

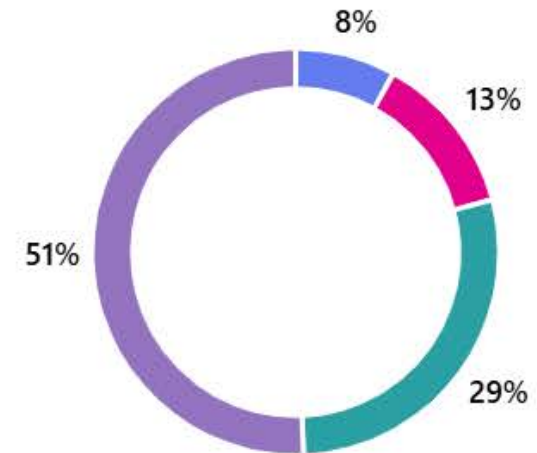
Appendix | アンケート回答

アンケート回答

25. 多文化多言語の子どもの見取りと指導に生成 AI（ChatGPT 等）をすでに活用している

[詳細情報](#)

● よく活用している	26
● 一度～数回だけ活用したことがある	42
● 活用してみたいと考えているが、まだ実践はしていない	93
● 活用したことがない	165



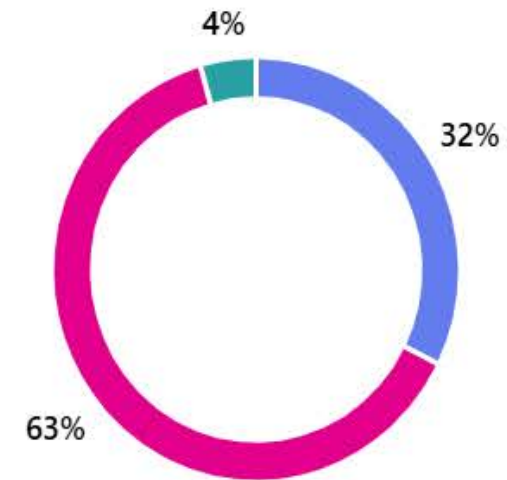
Appendix | アンケート回答

アンケート回答

26. 生成 AI を活用し、期待した効果が得られている

[詳細情報](#)

● とてもそう思う	22
● ややそう思う	43
● あまりそう思わない	3
● まったくそう思わない	0



Appendix | アンケート回答

アンケート回答

27. 生成AIの活用について、気がつくことがあれば何でもご記載ください（自由記述）

[詳細情報](#)

47
応答

最新の回答

"生成AIの情報の精度に疑問があるため、頼りきりの指導はどうかと思う。AIと対話する..."
 "生成AIに正確性があるのかを疑っており、一度も使用したことがない。時代錯誤かと言..."
 ...

23回答者 (49%) この質問に 活用回答しました。

生成AI活用

学校 学習 時間
 翻訳 指導 児童 者
 現場 先生 今後 個人 情報 見取 精度 場面
 子ども

Appendix | アンケート回答

アンケート回答

27. 生成AIの活用について、気がつくことがあれば何でもご記載ください（自由記述）

[詳細情報](#)

回答内容（一部抜粋）

現場で指導する立場ではないので、どのように活用しようとしているかはあまりよくわからない。結局のところ、生徒とやりとりをしながら情報を得る、というプロセスが鍵を握ってくるので、対話のキャッチボールをサポートしてくれる機能に、多言語対応する性能があることが、現場を助けることにつながるのではないかと思う。

色々な負担が減るのであれば、どんどん活用していくといいと思う。

別の内容で生成AIを活用をした研究をしてきた経験から、生成AIの活用していくことはよいと思うが、出てきた結果をもとに実際の児童生徒について複数人で、その支援でよいか、保護者に伝える内容として適切かについて検討する時間が必ず必要となると思います。

実施した動画をAIが見取って判断できるともっと使いやすい。

必ず人間が実態を把握する必要があるが、アドバイスシートの作成等は負担軽減につながると思う。

生成AIの精度に左右されると思いますが、実用化できれば見取りや指導等を考える上で先生方の大きな支えになると思います。

生成AIを活用してみたい思いはある。このシートを見て、実践したい指導法も見つけられるし、児童の個々の特徴がわかりやすくまとまっていて、説得力がある。担任など学校内での共通認識もとりにやすい。しかし、あくまでも、1つの視点としてのものであり、利用の仕方と、外部への共有は慎重になるべきだと思う。児童の実態は、単純ではない。このシートありきで物事が進んでいくことには危惧を感じる。

AIの活用について、①教科書本文をやさしい日本語に書き換えワークシートを作成する②保護者への連絡メール文や学校からの手紙を翻訳する、この2点で頻繁に活用しています。スムーズに作成できればと思っています。

生成AIを評価から教材の提案 教材作成に使えたらいいと思う。現在教材作りに使おうと試したが、うまくいかなくて中断している。諦めずに試してみて、評価から教材作りまでやってみたいとは思っているが、苦手意識がある。

現場の先生方が活用できる日を待っています